

Panasonic

ポータブルDVD オーディオ / ビデオプレーヤー

取扱説明書

品 番

DVD-LA85



このたびは、ポータブルDVD オーディオ / ビデオプレーヤーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

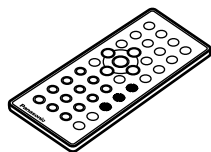
- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

上手に使って上手に節電

RQT5592-S

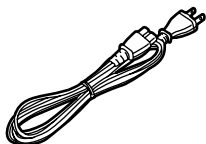
付属品のご確認



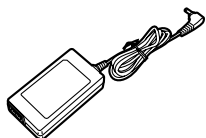
- ☐ リモコン
(品番: VEQ2376)



- ☐ リモコン用ボタン電池
(買い替え時の品番については7ページをご参照ください。)



- ☐ 電源コード
(品番: VJA0536)



- ☐ AC アダプター
(品番: VSK0577)



- ☐ 音声 / 映像コード
(品番: RJL3X001X15)

付属品の買い替えは、お買い上げの販売店へご相談ください。カッコ内の数字は買い替え時の品番を表します。

お願い

付属の電源コード / AC アダプターは、本機専用です。他の機器に使用しないでください。

本書では、次の記号を使用しています。

DVD-A	...DVD オーディオで楽しめる機能
DVD-V	...DVD ビデオで楽しめる機能
VCD	...ビデオ CD で楽しめる機能
CD	...音楽 CD で楽しめる機能

もくじ

まず

準備しよう

すぐ

使ってみよう

もっと

使いになそう

さらに

広げる使いかた

もし

必要なとき

安全上のご注意	4	電源の準備	8
ディスクについて	6	・ACアダプター（付属）で使う / バッテリーパック（別売）で使う	
リモコンの準備	7	電源を入れる	9
ディスクを再生する	10	・グループを選んで再生する	14
・再生を止める	12	・場面・曲を番号指定で再生する / メニュー画面に戻す	15
・静止（一時停止）する / 場面・曲を飛びこす / 早送り・早戻しする / スロー再生する / コマ送り・コマ戻しする	13	映像を調節する	16
		・映像のサイズ / 明るさ / 色の濃さ	
再生の種類を切り換える	18	初期設定を変更する	
・全てのグループを順に再生する（オール グループ再生） / 好みの順に再生する （プログラム再生） / 順不同に再生する （ランダム再生）		・設定方法	26
音声・字幕・アングルを切り換える	20	・1 ディスク言語	27
絵表示（GUI画面）を使って操作する		・2 視聴制限 / 3 画面メニュー言語	28
・基本操作	22	・4 オンスクリーン / 9 エキスパート設定	29
・シャトル画面	23		
・ディスクの情報画面	24		
・本機の情報画面	25		
他の機器と組み合わせる	31	スピーカーの設定をする	38
より大きな画面で楽しむ	32	デジタル出力の設定をする	40
より迫力ある音声で楽しむ	34	その他の楽しみかた	
・3本以上のスピーカーでサラウンドサウンドを 楽しむ <アナログ接続> / <デジタル接続>		・カラオケソフトのボーカルを切り換える	42
ステレオサウンドをもっと楽しむ		・ヘッドホンや2本のスピーカーでサラウンド 効果を楽しむ	43
・2本のスピーカーで楽しむ <アナログ接続> / <デジタル接続>	36	・MDやカセットテープに録音する	44
・アクティブスピーカーシステムで楽しむ / ヘッドホンで楽しむ	37	液晶画面でもっと楽しむ	45
		・テレビチューナー（別売）でテレビ放送を 楽しむ / ビデオカメラで撮った映像を楽しむ	
著作権について	46	初期設定一覧表	54
別売品のご紹介	46	主な仕様	55
使用上のご留意・お手入れ	47	各部の名前	56
用語解説	48	保証とアフターサービス	58
Q & A（よくあるご質問）	49		
故障かな！？	50		

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告

分解、改造はしない



分解禁止

- ・ 機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。
- ・ 点検や修理は、販売店にご相談ください。

付属の AC アダプター以外は使わない

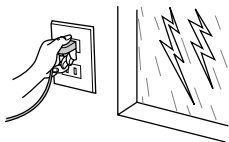


- ・ 自動車のシガレットライターソケットに接続したり、他の AC アダプターを使うと、火災の原因になります。

雷が鳴ったら、機器や電源プラグに触れない



接触禁止



- ・ 感電の恐れがあります。

異常があったときは電源プラグを抜く



電源プラグを抜く

- ・ 機器内部に金属や水、異物が入ったとき
- ・ 煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき
- ・ そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- ・ 販売店にご相談ください。

歩行中や、乗り物を運転中に使用しない



- ・ 交通事故の原因になります。

レーザー光を見つめない



- ・ 視力障害の原因になります。



警告

水をかけたり、濡らしたりしない



- ・本機の内部に入ると、火災や感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



- ・差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- ・傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

ACアダプター・電源コード・プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。



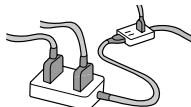
- ・傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- ・コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる



- ・プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- ・長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない



- ・たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



- ・感電の原因になります。

ぬれ手禁止

ボタン電池は正しく取り扱う



- ・⊕と⊖は正しく入れる
- ・長期間使用しないときは、取り出しておく

ボタン電池は誤った使い方をしない



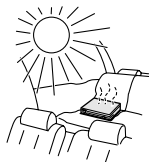
- ・乳幼児の手の届く所に置かない
- ・加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない
- ・ネックレスなどの金属物といっしょにしない

- ・誤って飲み込むと、胃や腸が損傷します。また、液が目に入ると、失明の恐れがあります。万一、このようなことが起こったら、すぐに医師にご相談ください。
- ・取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- ・万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
- ・液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

安全上のご注意

⚠ 注意

異常に温度が高くなるところに置かない



- ・機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- ・直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

ひざの上などで長時間使用しない



- ・機器の底面が熱くなり、低温やけどの原因になります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない



- ・耳を刺激するような大きな音量では、聴力に悪い影響を与える原因になります。

ひび割れ、変形、修復したディスクやハート型等の特殊形状のディスクは使用しない



- ・本機の内部で割れて飛び散ると、けがの原因になります。

ディスクについて



再生できるディスク

- ・ DVD オーディオ



- ・ DVD ビデオ



- ・ ビデオ CD



- ・ 音楽 CD



再生できないディスク

- ・ リージョン番号「2」「ALL」以外の DVD ビデオ
- ・ PAL 方式の DVD ビデオ / ビデオ CD
- ・ CD-R ・ フォト CD ・ CVD
- ・ DVD-ROM ・ CD-ROM ・ CD-G
- ・ DVD-RAM ・ DVD-R ・ CDV
- ・ DVD+RW ・ DVD-RW ・ CD-RW
- ・ VSD ・ SACD ・ SVCD
- など

DVD オーディオの音声は再生されます。
(表示窓に「AOP」が点灯し、「オーディオ オンリー プレーヤー」モードであることをお知らせします。[P57 ページ])

CD-R、フォト CD を再生するとディスクの内容が壊れる恐れがあります。

ディスク側の制約について

DVD オーディオ / DVD ビデオ / ビデオ CD には、ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりに動作しないものがあります。ディスクのジャケットなどもご参照ください。

DVD ビデオには発売地域ごとにディスクとプレーヤーに割り当てられたリージョン番号があります。本機の番号は「2」です。

本機は「2」（または「2」を含むもの）と「ALL」が表示されたディスクの再生が可能です。

ディスクのジャケットもご参照ください。

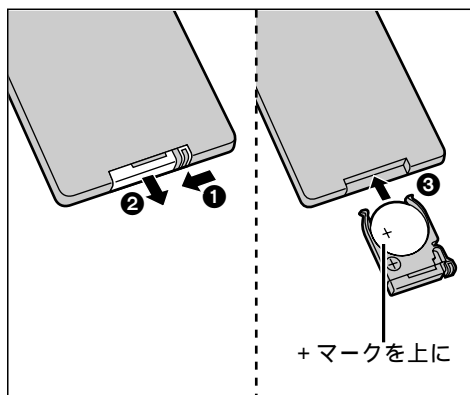
例）



など

リモコンの準備

ボタン電池（付属）を入れる



■ 電池の交換時期（1 年が目安です。）

- 下記の使用範囲内でリモコンを操作しても動かないときは、電池を交換してください。
品番（市販品）：CR2025（リチウム電池）
- 廃棄する場合は、不燃ゴミとして処理してください。（または、地方自治体の条例に従ってください。）

■ ジャケット上のマークについて

下記は一例です。

< 音声数 > < 字幕数 > < アングル数 >



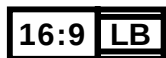
（数字は記録されている音声 / 字幕 / アングルの数を示す。）

< 画面サイズ（横：縦の比） >

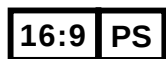
• 4：3 の標準サイズ • レターボックス ¹



• 16：9 のワイドサイズ：標準サイズのテレビでは、レターボックス ¹ で再生される。



• 16：9 のワイドサイズ：標準サイズのテレビでは、パン＆スキャン ² で再生される。



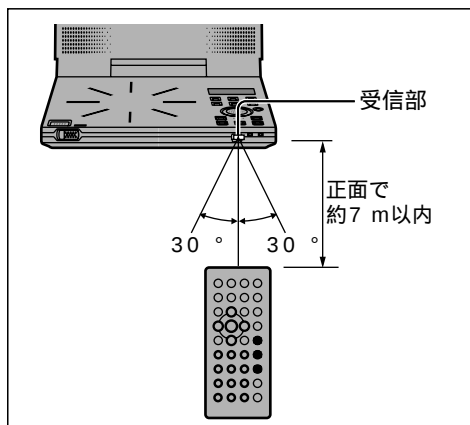
¹ 4：3 で上下に黒帯が入った画面

² 両側または片側の切れた画面

• 液晶画面に映し出される映像サイズは、表示モードによっても異なります。

（ 17 ページ）

使用範囲



お願い

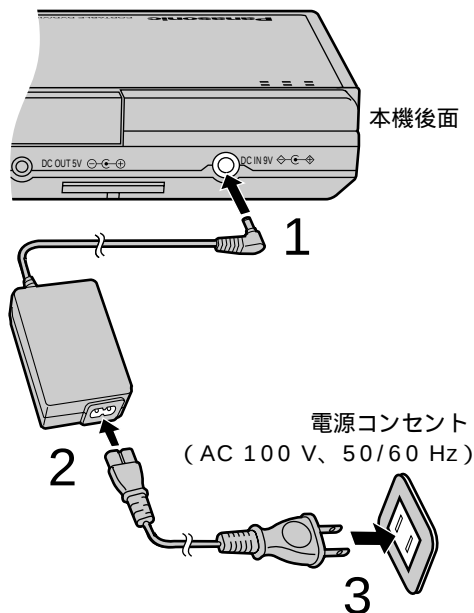
- 受信部に強い光を当てない。
- リモコンと受信部の間に物を置かない。
- 他の機器のリモコンと同時に使わない。

安全上のご注意 / ディスクについて / リモコンの準備

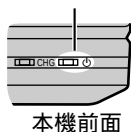
電源の準備

ACアダプター（付属）で使う

以下の手順で取りつけてください。



[⏻] ランプが点灯します。



海外旅行のお供にも

付属の AC アダプターは AC100 ~ 240 V の電源に使用できます。

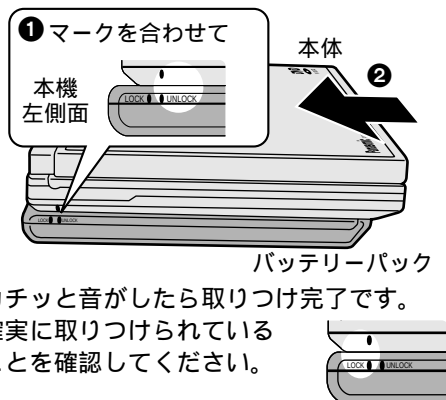
・旅行先のコンセントに合わせた変換プラグをご用意ください。

■ 長期間使用しないときは
電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

バッテリーパック（別売）で使う

- ・バッテリーパックの説明書もよくお読みください。
- ・初めてご使用になる場合は、充電してからお使いください。

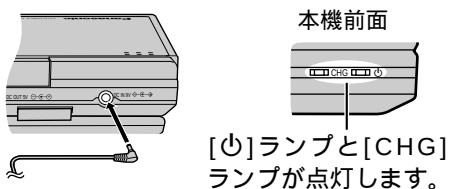
■ 取り付けるには



■ 充電するには

バッテリーパックを取り付けた状態で、AC アダプターを接続してください。（☞ 左記）

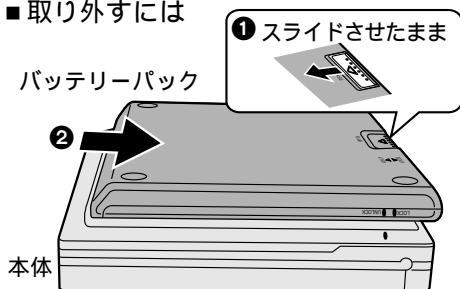
- ・充電できるのは電源が切れているときだけです。（「電源を切るには」☞ 9 ページ）



[CHG] ランプが消えると充電終了
AC アダプターと電源コードを取り外してください。

■ 取り外すには

バッテリーパック



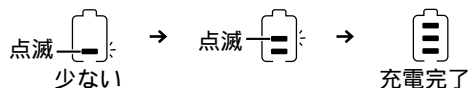
品番：DY-DB75（リチウムイオン電池）

■ 充電時間と再生可能時間

充電時間	再生時間	
	液晶画面 「入」	液晶画面 「切」
約 4 時間 30 分 (温度 20)	約 4 時間	約 7 時間

画面の明るさがレベル 0 のとき（㊧ 17 ページ）

- ・上記の時間は使用条件により異なります。
- ・充電中は表示窓（㊧ 57 ページ）に充電量が表示されます。充電時間のおおよその目安としてください。



- バッテリーの残量を確認するには
表示窓を見てください。



- 充電しても再生時間が極端に短いときは
バッテリーパックの寿命です。
(充電回数約 300 回が目安です。)

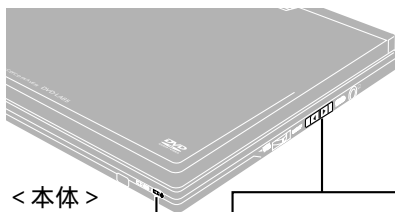
■ 長期間使用しないときは

- ・バッテリーパックを取り外してください。
(そのままにしておくと、電源「切」状態でも微小電流が流れていますので、過放電になり故障するおそれがあります。)
- ・再使用時は充電してからお使いください。

充電式リチウムイオン電池について
使用済みの電池は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで下記マークのある
リサイクル協力店
へお持ちください。



電源を入れる

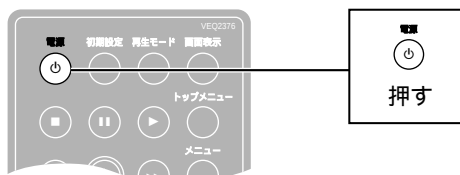


< 本体 >
[ON] ランプ



液晶画面を閉じているか、表示モードが「4」
(オフ) になっているとき（㊧ 17 ページ）
以外は点滅しません。

< リモコン >



■ 電源を切るには

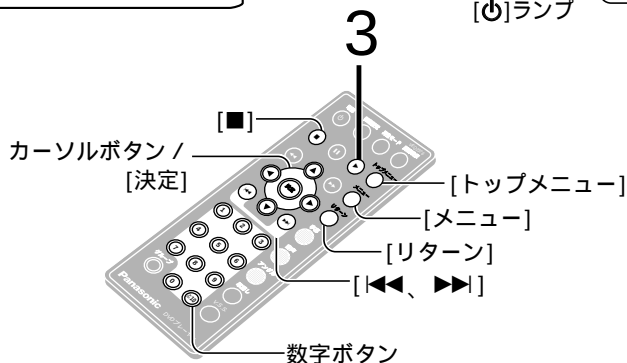
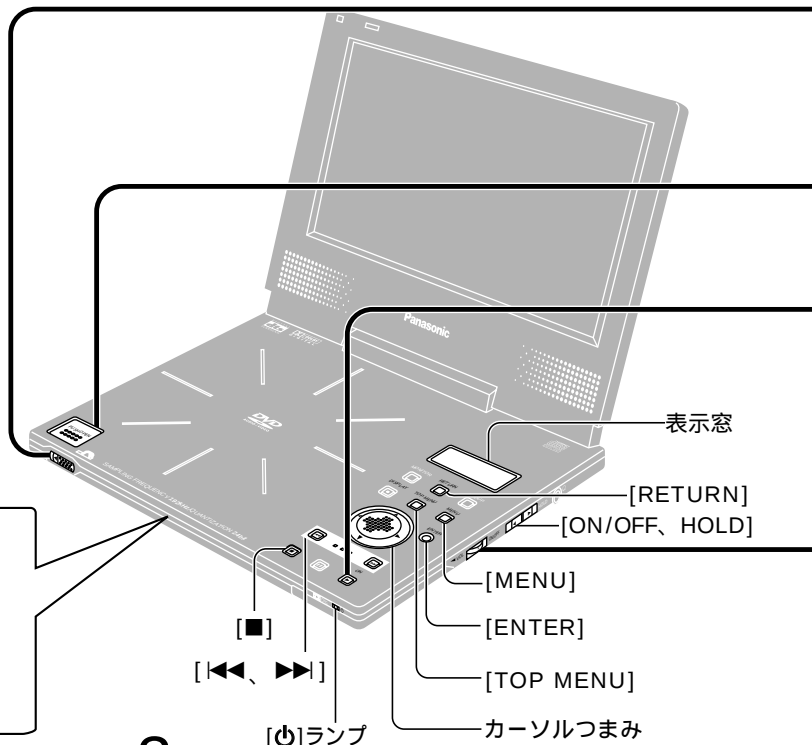
上記の操作を再び行ってください。
AC アダプター使用時は[ON]ランプが点灯します。（電源が入っていないくても、約 1.3 W の電力を消費していることを表します。）

お知らせ

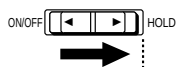
- ・バッテリーパック単独使用時は、リモコンで電源を入れることができません。
- ・停止状態で約 15 分（バッテリーパック単独使用時は約 5 分）経過すると節電のため自動的に電源が切れます。（オートパワーオフ）

ディスクを再生する

電源の準備は
しましたか？
(☞ 8、9 ページ)



■誤動作を防ぐには

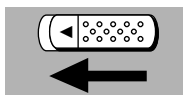


[ON/OFF、HOLD]を HOLD 方向へスライドさせる

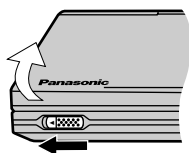
ホールド状態になり、誤ってボタンを押しても操作を受け付けなくなります。この状態でボタンを押すと表示窓に “Hold” と表示され [⏻]ランプが点滅します。

解除するには : [ON/OFF、HOLD]を ON/OFF 方向へスライドさせる

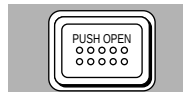
1



ロックを解除し、液晶画面を起こす

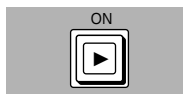


2



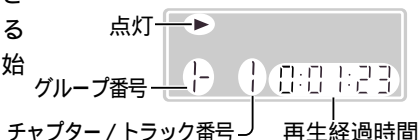
内ぶたを開け、ディスクを入れる
入れ終わったら手で内ぶたを閉める

3

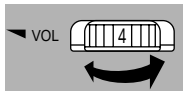


再生を始める メニュー画面を表示したときは(下記)

・電源が入っていないときは[▶、ON]を押し続けると電源が入り、再生が始まります。



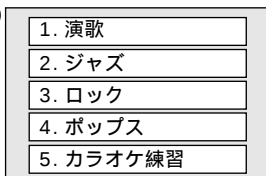
4



音量を調節する

<メニュー画面を表示したときは>

例)



リモコンの数字ボタンを押して項目を選ぶ

・DVD オーディオ / DVD ビデオの場合はカーソル[▲、▼、◀、▶]を操作して項目を選び[ENTER](決定)を押しても操作できます。

■ 数字ボタンで10以上を選ぶには

例) 10 : [≥10] → [1] → [0]

例) 25 : [≥10] → [2] → [5]

■ その他のメニュー操作

ディスクにより異なりますのでディスクのジャケットもご参照ください。

[▶▶] : 次のメニューを出す

[◀◀] : 一つ前のメニューに戻る

[TOP MENU] (トップメニュー)

: 最初のメニューに戻る

[MENU] (メニュー) : メニュー画面を出す

[RETURN] (リターン) : メニュー画面を出す

お知らせ

- ・長時間お使いになると本機表面が多少熱くなりますが、故障ではありません。
- ・メニュー画面表示中は、ディスクが回っています。再生しないときは[■]を押してください。

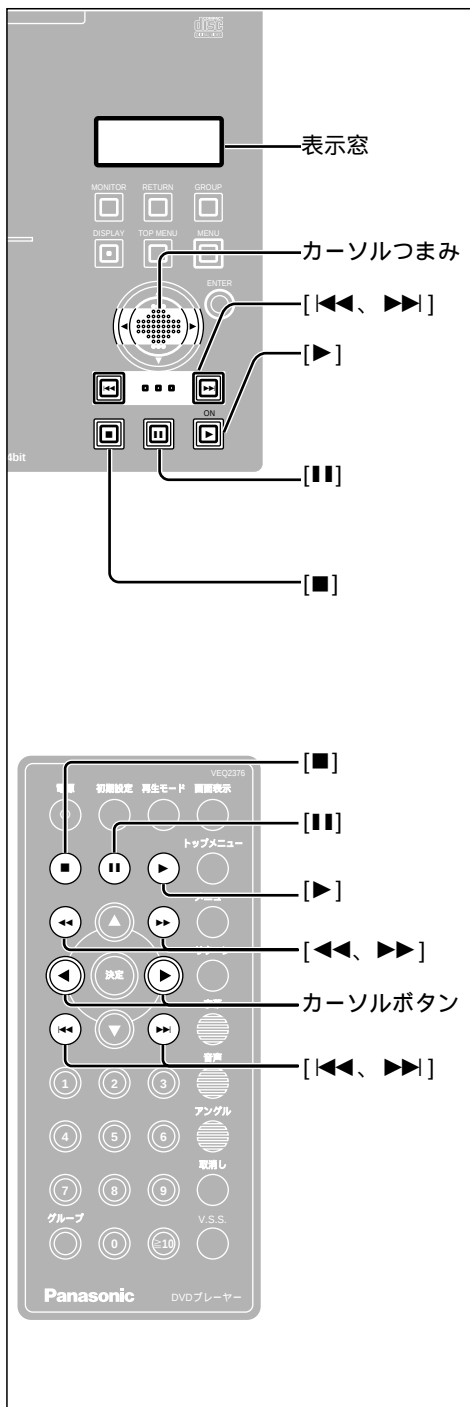
■ “⊙” を表示したときは

ディスクまたは本機で禁止されているため、その操作はできません。

■ 再生が終了したら

続けて再生しないときは節電のため電源を切っておいてください。(9 ページ)

ディスクを再生する(つづき)



再生を止める

DVD-A DVD-V VCD CD

再生中

[■]を押す

表示窓に“▶”が点滅しているときは、止めた位置が記憶されています。



“▶”点滅中[▶] (再生) を押すと、止めた位置から再生が始まります。

(続き再生メモリー機能)

DVD ビデオの場合は、さらに次の画面を表示します。

再生ボタンを押すと、
あらすじリプレイになります

表示中に[▶] (再生) を押すと、あらすじリプレイになります。押さずに放置しておくと画面が消え、止めた位置から再生が始まります。

あらすじリプレイ:

再生を止めた位置までの各チャプターの冒頭を再生した後、止めた位置から再生が始まります。(同一タイトル内でのみ働きます。)

■ 続き再生メモリー機能を解除するには [■] を押す

・ DVD オーディオのグループは記憶されています。

お知らせ

続き再生メモリー機能は

- ・ 電源を切っても保持されます。
- ・ 内ぶたを開けると解除されます。
- ・ 再生中、表示窓に経過時間が表示されないときは働きません。

静止(一時停止)する

DVD-A DVD-V VCD CD

再生中

[■]を押す

表示窓

点灯



- ・[▶](再生)を押すと通常再生に戻ります。

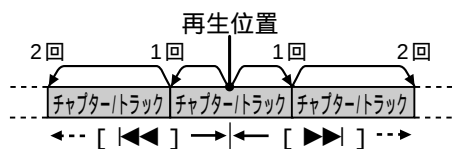
場面(チャプター)・曲(トラック)を飛びこす

DVD-A DVD-V VCD CD

再生中/静止(一時停止)中

[◀◀] (戻る) [▶▶] (進む) を押す

押した回数だけスキップします。



早送り・早戻しする

DVD-A DVD-V VCD CD

再生中

<本体>

[◀◀] (戻る) [▶▶] (進む)

を押し続ける

<リモコン>

[◀◀] (戻る) [▶▶] (進む) を押す

- ・押し続けると(リモコンでは押すたびに)速くなります。(5段階)
 - ・[▶](再生)を押すと通常再生に戻ります。
 - ・早送り/早戻し中も音声がかかります。(聞こえないディスクもあります。) 音声を消すこともできます。(DVDビデオ/ビデオCDのみ)
- ☞ 29 ページ “ 9 エキスパート設定 ”

スロー再生する

DVD-A DVD-V VCD

静止(一時停止)中

<本体>

[◀◀] (戻る) [▶▶] (進む)

を押し続ける

<リモコン>

[◀◀] (戻る) [▶▶] (進む) を押す

DVD オーディオ / DVD ビデオのみ

- ・押し続けると(リモコンでは押すたびに)速くなります。(5段階)
- ・[▶](再生)を押すと通常再生に戻ります。
- ・DVD オーディオは、動画部でのみ可能です。

コマ送り・コマ戻しする

DVD-A DVD-V VCD

静止(一時停止)中

カーソル[◀] (戻る) [▶] (進む)

を操作する

DVD オーディオ / DVD ビデオのみ

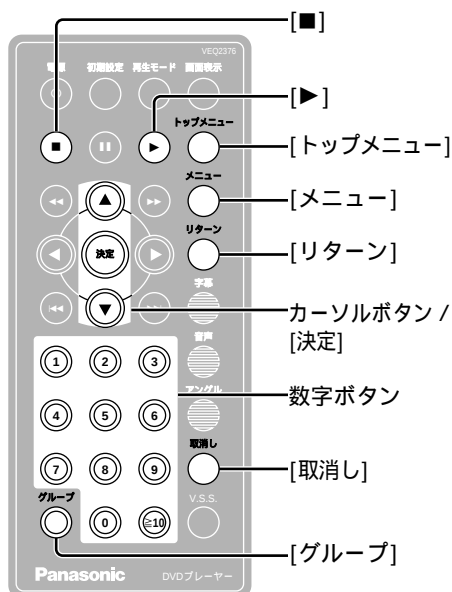
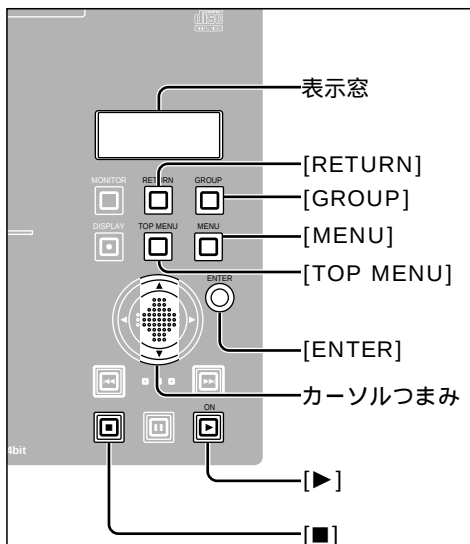
- ・操作したままにすると連続してコマ送り/コマ戻し再生になります。
- ・[▶](再生)を押すと通常再生に戻ります。
- ・[■]を押してもコマ送りできます。
- ・DVD オーディオは、動画部でのみ可能です。

お知らせ

プレイバックコントロール付ビデオCDのメニュー再生中は[◀◀、▶▶]や[◀◀、▶▶]が正しく働かないことがあります。

(「プレイバックコントロール」☞ 48 ページ)

ディスクを再生する(つづき)



グループを選んで再生する

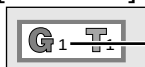
DVD-A

グループとは

DVD オーディオのディスクに入っているトラックの組み合わせのことです。ディスクによっては暗証番号を入力すると、再生できるボーナスグループが入ったものもあります。

1 再生中 / 停止中

[GROUP] (グループ) を押す

 押すたびにグループが切り換わります。

・リモコンの数字ボタンで選ぶこともできます。

2 [▶] (再生) を押す

選んだグループのトラック 1 から再生が始まります。

・ボーナスグループは停止中のみ選べます。この場合はさらに下記の操作を行ってください。

< ボーナスグループを再生するには >

1 リモコンの数字ボタンで暗証番号(4 ケタ)を入力する (間違えたときはリモコンの [取消し] を押してください。)

・番号はディスクのジャケットなどで確認してください。

2 [ENTER] (決定) を押す

表示がトラック選択のものに変わります。

・この時点でカーソル [▲、▼] を操作するとトラックが選べます。

3 [▶] (再生) または [ENTER] (決定) を押す

・間違った番号を入力すると、元の画面に戻ります。最初からやり直してください。

・いったん暗証番号を入力すると、ディスクを取り出すまで再び入力する必要はありません。

一度に全グループを再生したいときは、オールグループ再生でお楽しみください。
(▶ 18 ページ)

場面(タイトル)・曲(トラック) を番号指定で再生する リモコンのみ

DVD-A DVD-V VCD*

CD

再生中/停止中

数字ボタンを押す

選んだタイトル/トラックから再生が始まります。(プレイバックコントロール付ビデオCDの場合 ㊦ 下記)

- ・カラオケソフト以外のDVDビデオでは停止中のみ働きます。
- ・DVDオーディオの場合、別のグループのトラックを選ぶときは、まずグループ番号を入力してください。(㊦ 14 ページ)
- ・ディスクや再生状態によって働かないことがあります。

<*プレイバックコントロール付ビデオCDの場合>

メニュー再生を解除してから操作してください。

- 1 再生中[■]を押して表示窓の“P b”を消す
- 2 数字ボタンを押す(㊦ 上記)

メニュー再生に戻すには

- 1 [■]を数回押して表示窓の“▶”を消す
 - 2 [▶](再生)または[MENU](メニュー)を押す
- 表示窓に“P b”が点灯します。

メニュー画面に戻す

DVD-A DVD-V VCD

< DVD オーディオの場合 >

再生中

[TOP MENU](トップメニュー)を押す

< DVD ビデオの場合 >

再生中

[MENU](メニュー)を押す

(複数のメニューを持つDVDビデオの場合 ㊦ 下記)

< ビデオCDの場合 >

再生中

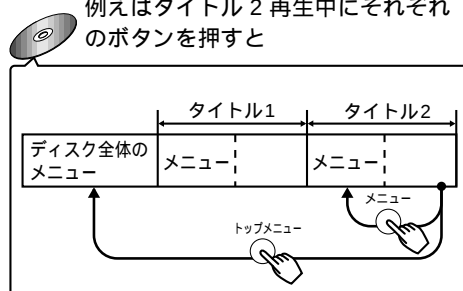
[RETURN](リターン)を押す

< 複数のメニューを持つDVDビデオの場合 >

[TOP MENU](トップメニュー)を押してもメニュー画面に戻すことができます。

- ・ただし[MENU](メニュー)を押したときと[TOP MENU](トップメニュー)を押したときで表示されるメニューが異なる場合があります。

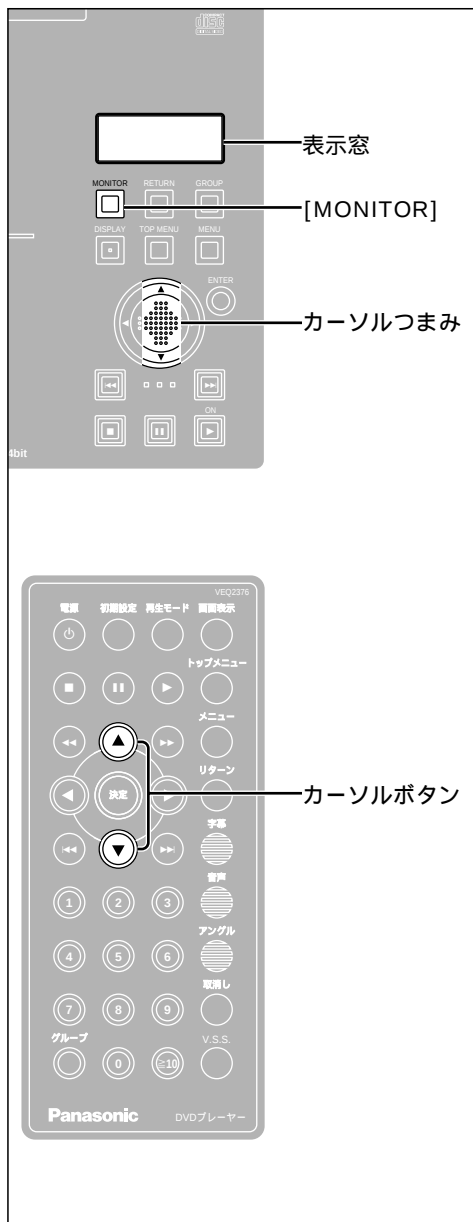
例えばタイトル2再生中にそれぞれのボタンを押すと



お知らせ

- ・メニューの内容は、ディスクによって異なりますが、ここでは一般的な操作方法を紹介しています。
- ・映像方式がPALのDVDオーディオを再生しているとき(表示窓に“AOP”点灯時)には動きません。

映像を調節する



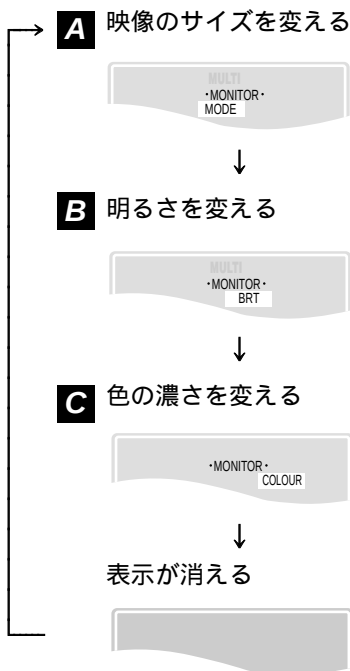
お知らせ

調節は、本機の液晶画面にのみ有効です。
テレビなどを接続して映像をお楽しみの場合、接続した機器側で調節してください。

再生中 / 停止中

本体の[MONITOR]を押して
液晶画面の設定モードを切り
換える

押すたびに表示窓の表示が切り換わ
ります。



それぞれの表示を点灯させて17ペー
ジの操作を行ってください。
(調節後は表示を消しておいてください。)

- ・映像サイズは、電源を切るか、電源「入」状態で[IN/OUT]を押すと(45ページ)自動的に「1」(ノーマル)になります。
- ・外部入力モード(45ページ)のときに調節した場合を除き、電源を切っても明るさと色の濃さの設定は保持されています。

A 映像のサイズ

カーソル[▲、▼]を操作して表示モードを切り換える

表示窓の文字が以下のように切り換わります。

1 (ノーマル) ↔ 2 (フル) ↔ 3 (ズーム)

↑ ↓

■ 表示モードと映像のサイズ

画面に映し出される映像は表示モードとディスク側の画面サイズによって異なります。

モード ディスク	1 (ノーマル)	2 (フル)	3 (ズーム)	4 (オフ)
ワイド 16:9 PS 16:9 LB	フル画面 	フル画面 	上下が切れる 	切
4 : 3 4:3	左右に黒帯が出る 	1の画面が左右に伸びる 	2の画面の上下が切れる 	切
4 : 3 (レターボックス) LB	上下左右に黒帯が出る 	1の画面が左右に伸びる 	フル画面 	切

※ディスクのジャケット上のマークです。

- 本機の液晶画面を使わないときは節電のため、“4”(オフ)にすることをお薦めします。
- 液晶画面を閉じると自動的に「切」になります。
- “3”(ズーム)のときには画面に横線が出ることがありますが、異常ではありません。

B 明るさ

カーソル[▲、▼]を操作して

明るさを調節する

— 5 (暗い) ~ 5 (明るい)

明るいほど電力消費量は大きくなります。

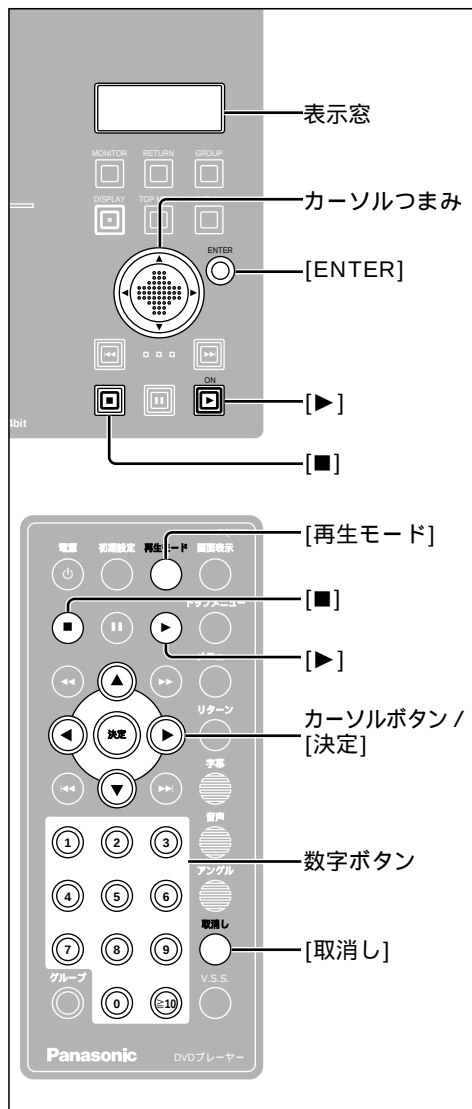
C 色の濃さ

カーソル[▲、▼]を操作して

色の濃さを調節する

— 5 (薄い) ~ 5 (濃い)

再生の種類を切り換える



お知らせ

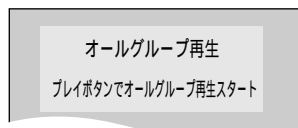
- ・プログラム再生の予約は解除しない限り、電源を切るか、内ぶたを開けるまで保持されます。
- ・プログラム/ランダム再生時にDVDオーディオの「ボーナスグループ」を選んだときは、暗証番号(4ケタ)を入力してください。(P14 ページ)

停止中リモコンの[再生モード]を押して再生の種類を切り換える
ボタンを押すたびに切り換わります。

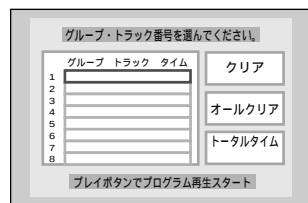
“⊙”が表示されたときは[■]を押して表示窓の“▶”を消してから[再生モード]を押してください。

例) DVD オーディオの場合

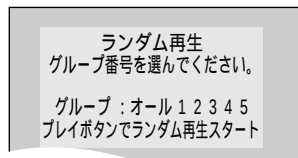
- **A** 全てのグループを順に再生する
(オールグループ再生)



- ↓
B 好みの順に再生する(プログラム再生)
(最大 32 トラック)



- ↓
C 順不同に再生する(ランダム再生)



↓
通常再生モードに戻る

それぞれの画面を表示して 19 ページの操作を行うと、選んだモードで再生が始まります。

■ 通常再生に戻すには

- 1 [■] を数回押して表示窓の“▶”を消す
- 2 リモコンの[再生モード]を押して通常再生に切り換える
- 3 [▶](再生)を押す

■ 再生が終了したら
停止し、それぞれの画面に戻ります。

A 全てのグループを順に再生する（オールグループ再生）DVD-A ☐ ☐ ☐

[▶] (再生) を押す

B 好みの順に再生する（プログラム再生）DVD-A ☐ VCD ☐ CD ☐

1 [ENTER] (決定) を押す

2 < DVD オーディオのみ >

カーソル [▲、▼] を操作して
グループを選び

[ENTER] (決定) を押す

3 カーソル [▲、▼] を操作して
トラックを選び

[ENTER] (決定) を押す

カーソル [▲、▼] を操作するたびに
1 ←————→ 2 ←-----→ オール
↑—————↑必要なだけ手順 1 ~ 3 を繰り返して
ください。

- 手順 1 ~ 3 のかわりにリモコンの数字ボタンでグループ/トラックを選ぶこともできます。
- “トータルタイム” には、予約合計時間が表示されます。
- “オール” を選ぶと全曲（DVD オーディオの場合はグループ内の全曲）が予約されます。

■ 予約内容を変更するには

[■] を数回押す

プログラム再生画面が表示されます。

それぞれ以下の操作を行ってください。

予約を部分変更するには

- 1 カーソル [▲、▼] を操作して変更するグループ/トラックを選ぶ
- 2 左記の手順 1 ~ 3 を行う

予約を 1 つずつ取り消すには

- 1 カーソル [▲、▼] を操作して取り消すトラックを選ぶ
- 2 リモコンの [取消し] を押す
 - [取消し] を押すかわりにカーソルで“クリア”を選び [ENTER] (決定) を押しても操作できます。

予約を全て取り消すには

カーソル [▲、▼、◀、▶] を操作して
“オールクリア”を選び [ENTER] (決定) を押す

4 [▶] (再生) を押す

C 順不同に再生する（ランダム再生）DVD-A ☐ VCD ☐ CD ☐

1 < DVD オーディオのみ >

カーソル [◀、▶] を操作して
グループを選び [ENTER] (決定) を押す (複数選べます。)

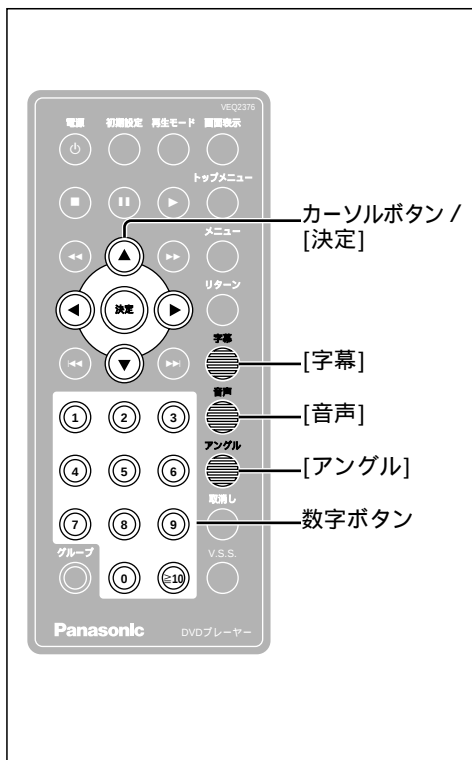
- リモコンの数字ボタンで選ぶこともできます。

■ DVD オーディオで選んだグループを取り消すには

- 1 カーソル [◀、▶] を操作して取り消すグループを選ぶ
- 2 リモコンの [取消し] または [ENTER] (決定) を押す

- リモコンの数字ボタンでグループ番号を直接入力しても取り消すことができます。

2 [▶] (再生) を押す



音声切換



再生中

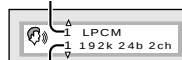
[音声]を押す

押すたびに音声切り換わりします。

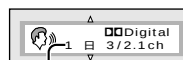
< DVD オーディオ >

< DVD ビデオ >

現在の音声番号



選んだ音声番号
(2つ目の音声記録されていないときも通常
“2”までは表示)



音声番号
(音声記録されていないときは“- * ”
と表示)

こんなこともできます

音声の切換機能を使ってカラオケソフトのボーカルを切り換えることができます。
(42 ページ)

■ “⊙”を表示したときは
ディスクに記録されていない音声 / 字幕 /
アングル番号を選んでいるため、入力でき
ません。

■ 表示を消すには

[決定]を押す

しばらく放置しておいても自然に消えます。

字幕切換



再生中

[字幕]を押す

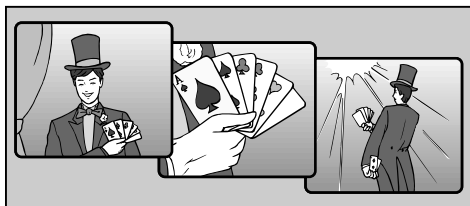
押すたびに字幕言語が切り換わります。



字幕番号

(字幕が記録されていないときは“--*”と表示)

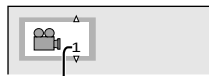
アングル切換



再生中

[アングル]を押す

押すたびにアングルが切り換わります。



アングル番号

■ 字幕を「入」「切」するには
カーソル[◀、▶]を操作する

お知らせ

- カーソル[▲、▼]や数字ボタンで音声 / 字幕 / アングル番号を選ぶこともできます。
- DVD ビデオの場合、一つしか音声 / 字幕 / アングルが記録されていない場合は、“△、▽”マークは表示しません。



- 変更後の言語で字幕が表示されるまでには、少し時間がかかることがあります。
- 最初から好みの言語で聞きたい / 見たい場合は、音声 / 字幕言語の設定を行ってください。(27 ページ “1 ディスク言語”)
- 電源を入れたときやディスクを入れ替えたときはその設定が優先されます。
- メニュー画面でのみ音声 / 字幕 / アングルの切り換えができるディスクもあります。
- アングル切り換えは複数のアングルが記録されている場面でのみ働きます。
- あらかじめアングル番号を指定しておくことができるディスクもあります。ディスクのジャケットなどもご参照ください。

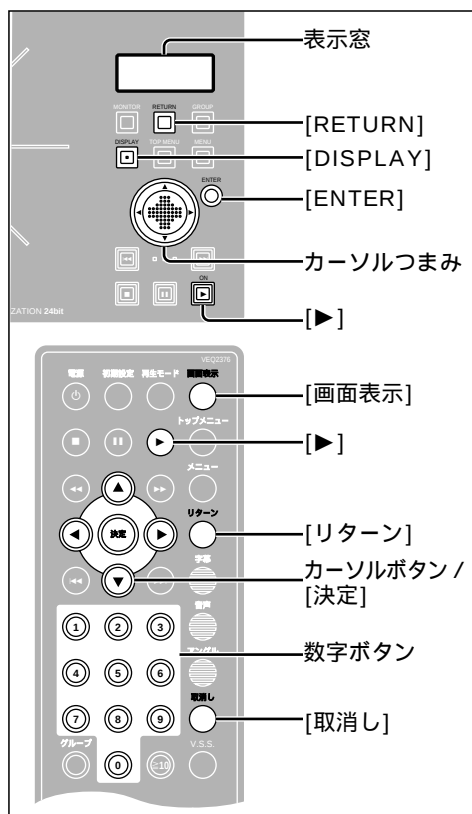
絵表示 (GUI 画面) を使って操作する

GUI(Graphical User Interface)とは「画面を見ながら操作ができる」ことを意味し、本機の場合は、ディスクや本機の情報などを表示する画面表示を「GUI画面」と呼びます。情報を確認しながら内容を変更することにより、様々な操作ができます。

こんなこともできます

下記の操作はGUI画面でのみ可能です。くわしくは24、25ページをご覧ください。

- ・経過時間 / 時間表示モード
- ・静止画番号
- ・A-B リピート再生
- ・リピート再生
- ・シネマボイスモード「入」「切」
- ・マーカー
- ・V.S.S.モード



基本操作

- 1 再生中 / 停止中
[DISPLAY] (画面表示) を押してGUI画面を表示する
押すたびに画面が切り換わります。
表示例) DVD ビデオの場合
ディスクの情報画面 (24 ページ)
グループ / トラック / タイトル / チャプターを選んだり、音声 / 字幕 / アングルを切り換えたりできます。
↓
本機の情報画面 (25 ページ)
お好みの箇所にマークを付けたり、リピート再生などができます。
↓
シャトル画面 (23 ページ)
早送り / 早戻しや、スロー再生ができます。
↓
2 カースル[▲、▼、◀、▶]を操作して項目を選ぶ
選ばれた項目が黄色の枠で表示されます。
3 カースル[▲、▼]を操作して内容を変更する
・シャトル画面の場合は手順3は不要です。
・リモコンの数字ボタンで変更できるものもあります。
・変更が実行されないときは[ENTER] (決定) または [▶] (再生) を押してください。

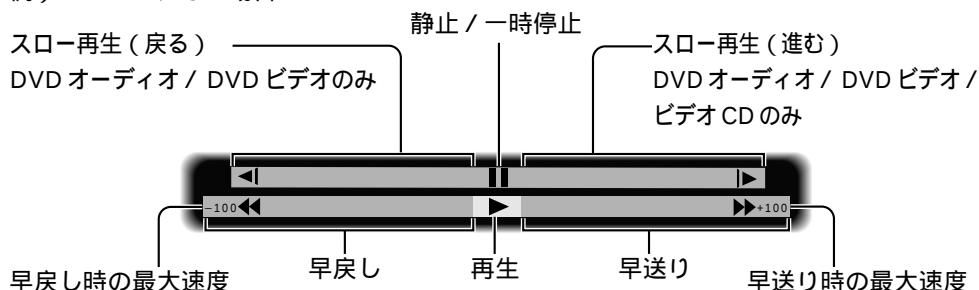
■ GUI画面を消すには
[RETURN] (リターン) またはリモコンの [取消し] を押す

お知らせ

- GUI 画面が欠けたり、表示されなかったりする場合、表示される位置を変えることができます。色を変えることもできます。(「29 ページ “4 オンスクリーン”」)
- 22 ~ 25 ページのイラストは一例です。表示内容はディスクや再生状態によって異なります。
- ディスクや再生状態(停止中など)によって操作できないものがあります。
- 枠の“△、▽”マークはカーソル[▲、▼]で変更できることを示します。

シャトル画面

例) DVD ビデオの場合

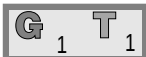
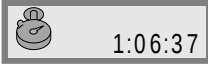
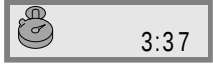
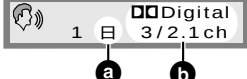
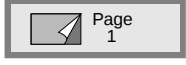
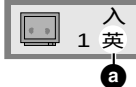


早送り / 早戻しの速度を変えても数値は変わりません。最大速度を表示しています。

- 早送り / 早戻し、スロー再生の速度は 5 段階あり、カーソル[◀、▶]を操作し続けると(または操作するたびに)変化します。
- 静止(一時停止)中に“II”をカーソル[▲]で操作するとコマ送りできます。(DVD オーディオ / DVD ビデオ / ビデオ CD のみ)
- DVD オーディオの場合、スロー再生 / コマ送りは動画部でのみ働きます。

絵表示 (GUI 画面) を使って操作する (つづき)

ディスクの情報画面

	グループ番号 / トラック番号 (DVD オーディオ) : 番号を選ぶとそのグループ / トラックの再生開始
	トラック番号 (ビデオ CD / CD) / タイトル番号 (DVD ビデオ) : 番号を選ぶとそのトラック / タイトルの再生開始
	チャプター番号 (DVD ビデオ) : 番号を選ぶとそのチャプターの再生開始
	経過時間 (DVD オーディオ / DVD ビデオ) : リモコンの数字ボタンで指定した時間から再生開始 例) 1 時間 6 分 37 秒から再生するとき [1] → [0] → [6] → [3] → [7] → [ENTER] (決定)
	時間表示モード (DVD オーディオ / ビデオ CD / CD) : カーソル[▲、▼]を操作するたびに表示変更 トラックの経過時間 ↔ トラックの残り時間 ↔ グループ / ディスクの残り時間 ↑-----↑
例) DVD ビデオの場合 	音声番号 (DVD オーディオ / DVD ビデオ) : 番号を選ぶとその音声で再生 a : 番号に割りあてられた言語 (☞ 下記「音声 / 字幕言語」) b : 番号に割りあてられた音声属性 (☞ 下記「音声属性」)
	音声チャンネル (ビデオ CD) : チャンネルを選ぶとその音声で再生 LR ↔ L ↔ R (左右チャンネル) (左チャンネル) (右チャンネル) ↑-----↑
	静止画番号 (DVD オーディオ) : 番号を選ぶとその画像で再生 “RETURN” が表示される場合、それを選ぶと多くのディスクでメニュー画面になります。
	字幕番号 / 字幕「入」「切」(DVD ビデオ) : 番号を選ぶと、その言語で再生 / 字幕の「入」「切」の選択 a : 番号に割りあてられた言語 (☞ 下記「音声 / 字幕言語」)
	アングル番号 (DVD ビデオ) : 番号を選ぶとそのアングルで再生
	メニュー再生の「入」「切」状態表示 (プレイバックコントロール付ビデオ CD) : 内容変更はできません。

音声 / 字幕言語

日 : 日本語	蘭 : オランダ語
英 : 英語	中 : 中国語
仏 : フランス語	露 : ロシア語
独 : ドイツ語	韓 : 韓国語
伊 : イタリア語	* : その他
西 : スペイン語	

音声属性

PPCM / LPCM /  Digital / DTS : 信号タイプ
k : サンプリング周波数 b : ビット数 ch : チャンネル数
Vocal : カラオケディスクのボーカル表示 (カーソル[▲、▼]で切り換えることができます。)
< ソロ > --- ↔ 入
< デュエット > --- ↔ V1 + V2 ↔ V1 ↔ V2

本機の情報画面

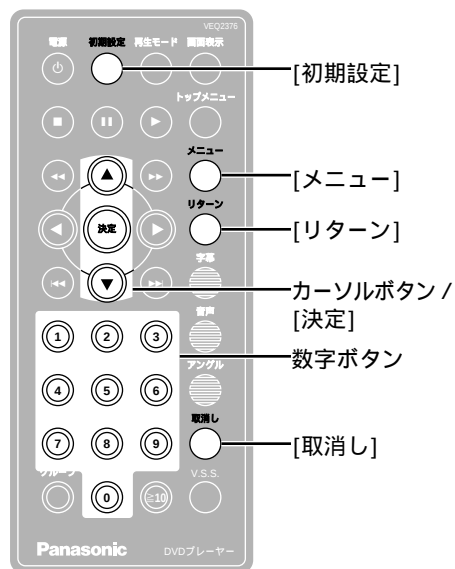
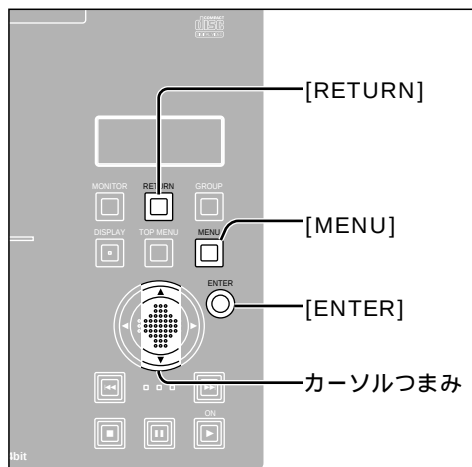
	A-B リPEAT再生：指定した 2 点間を繰り返し再生 再生中[ENTER]（決定）を押すたびに （A 点を指定） （B 点を指定） （A-B リPEAT再生が始まる） （通常の再生に戻る） ・同一トラック / タイトル内でのみ可能です。 ・B 点を指定する前にトラック / タイトルが終わったときは、その終了点が B 点として指定されます。 ・A-B リPEAT時は “A↪B” が表示窓に点灯します。
	リPEAT再生：再生の種類を選ぶと繰り返し再生開始 （DVD オーディオ / ビデオ CD / CD） T（トラック）↔ G（グループ） / A（ディスク全体） ↔ 切（通常再生） DVD オーディオの場合、オールグループ / プログラム / ランダム再生時は “A” と表示されます。 （DVD ビデオ） C（チャプター） ↔ T（タイトル） ↔ 切（通常再生） ・トラック / チャプターリPEAT時は “1 ↺” が、ディスク / グループ / タイトルリPEAT時は “↺” が表示窓に点灯します。
	再生モード表示（DVD オーディオ / ビデオ CD / CD）： 内容変更はできません。 ALL：オールグループ PRG：プログラム RND：ランダム ---：通常
	シネマボイスモード「入」「切」 （ドルビーデジタル / DTS 3ch 以上のディスク）： “入” を選ぶとセンターチャンネルのセリフの音量が上がる
	マーカー：もう一度再生したいところにマークをつける（最大 5 か所） [ENTER]（決定）を押してからマークしたいところでもう一度押す ・2 回目以降はまずカーソル[▶]を操作してください。 ・電源を切るか、内ぶたを開けるまでマーク番号は保持されています。 ■ マークを呼び出す ■ マークを取り消す カーソル[◀, ▶] でマークを選び カーソル[◀, ▶] でマークを選び [ENTER]（決定）を押す リモコンの[取消し]を押す
	V.S.S.モード / V.S.S.レベル （ドルビーデジタル 2ch 以上のディスク）：選んだモード / レベルで再生 V.S.S.モード V.S.S.レベル 🎧 ↔ 📢 1（標準） ↔ 2（強） （ヘッドホン V.S.S.）（V.S.S.） ↻ 切（解除） ↻

絵表示（G U I 画面）を使って操作する（つづき）

初期設定を変更する

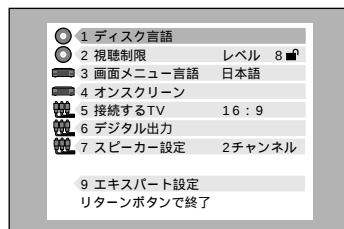
再生時の言語、表示、視聴制限などの設定を変更することができます。

“DVDビデオモード”(㊦30 ページ)の設定以外は電源を切っても次に変更するまで保持されます。



設定方法

- 1 停止中
[初期設定]または[MENU](メニュー)を押して
初期設定画面を表示する



- 2 カーソル[▲、▼]を操作して
項目 / 内容を選び、
[ENTER](決定)を押す
必要なだけ繰り返してください。

< 初期設定の種類 >

- 1 ディスク言語 (㊦27 ページ)
音声 / 字幕 / ディスクメニューの言語変更
- 2 視聴制限 (㊦28 ページ)
視聴制限の設定 / 変更
- 3 画面メニュー言語 (㊦28 ページ)
画面に表示される言語変更
- 4 オンスクリーン (㊦29 ページ)
画面表示の有無、色 / 位置変更
- 5 接続する TV (㊦33 ページ)
接続するテレビに合わせた設定
- 6 デジタル出力 (㊦40 ページ)
接続するデジタル機器に合わせた設定
- 7 スピーカー設定 (㊦38 ページ)
接続するスピーカーに合わせた設定
- 9 エキスパート設定 (㊦29 ページ)
スチルモードなどの特殊な設定変更

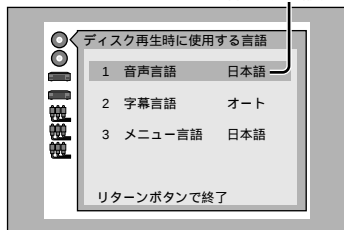
■ ひとつ前の画面に戻るには
[RETURN] (リターン) を押す

■ 設定を終了するときには
初期設定画面が消えるまで
[RETURN] (リターン) を数回押す

1 ディスク言語 (設定方法 26 ページ)

DVD オーディオ / DVD ビデオの再生時に使う各種言語が設定できます。
設定した言語が、ディスクに記録されていない場合や、ディスク側であらかじめ優先言語が決められている場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。

出荷時の設定



1 音声言語 (DVD ビデオのみ)

日本語 / 英語 / オリジナル^{*1} / その他 * * * *^{*3}

2 字幕言語 (DVD ビデオのみ)

オート^{*2} / 日本語 / 英語 / その他 * * * *^{*3}

3 メニュー言語

日本語 / 英語 / その他 * * * *^{*3}

¹ ディスクの最優先言語です。

² “音声言語” で選んだ言語で音声が生じなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。

³ リモコンの数字ボタンでお好みの言語の言語番号 (下記) を入力し、[ENTER] (決定) を押してください。

間違った数字を入力してしまったときはリモコンの[取消し]を押すと取り消せます。

言語番号一覧表

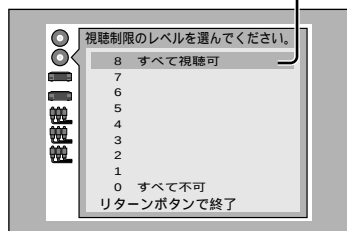
アイスランド : 7383	カンナダ : 7578	タタール : 8484	フリジア : 7089
アイマラ : 6588	カンボジア : 7577	タミル : 8465	ブータン : 6890
アイルランド : 7165	キルギス : 7589	タガログ : 8476	ブルガリア : 6671
アゼルバイジャン : 6590	ギリシャ : 6976	タジク : 8471	ブルターニュ : 6682
アッサム : 6583	クルド : 7585	チェコ : 6783	ヘブライ : 7387
アフガル : 6565	クロアチア : 7282	中国語 : 9072	ベトナム : 8673
アフリカーンス : 6570	グアラニー : 7178	チベット : 6679	ベロルシア (白ロシア) : 6669
アブハジア : 6566	グジャラト : 7185	ティグリニア : 8473	ベンガル (バングラ) : 6678
アムハラ : 6577	グリーンランド : 7576	テルグ : 8469	ベルシャ : 7065
アラビア : 6582	グルジア : 7565	デンマーク : 6865	ポーランド : 8076
アルバニア : 8381	ケチュア : 8185	トウイ : 8487	ポルトガル : 8084
アルメニア : 7289	ゲール (スコットランド) : 7168	トルクメン : 8475	マオリ : 7773
イタリア : 7384	コーサ : 8872	トルコ : 8482	マケドニア : 7775
イディッシュ : 7473	コルシカ : 6779	トンガ : 8479	マライ (マレー) : 7783
インターリングア : 7365	サモア : 8377	ドイツ : 6869	マラッタ : 7782
インドネシア : 7378	サンスクリット : 8365	ナウル : 7865	マラヤーラム : 7776
ウエルズ : 6789	ショナ : 8378	日本語 : 7465	マルタ : 7784
ウオロフ : 8779	シンド : 8368	ネパール : 7869	マダガスカル : 7771
ヴォラビュック : 8679	シンハラ : 8373	ノルウェー : 7879	モルダビア : 7779
ウクライナ : 8575	ジャワ : 7487	ハウサ : 7265	モンゴル : 7778
ウズベク : 8590	スウェーデン : 8386	ハンガリー : 7285	ヨルバ : 8979
ウルドゥー : 8582	スロバキア : 8375	バシキール : 6665	ラオ : 7679
英語 : 6978	スロベニア : 8376	バスク : 6985	ラテン : 7665
エストニア : 6984	スワヒリ : 8387	バシュト : 8083	ラトビア (レット) : 7686
エスペラント : 6979	スンダ : 8385	パンジャブ : 8065	リトアニア : 7684
オーリヤ : 7982	スペイン : 6983	ヒンディー : 7273	リンガラ : 7678
オランダ : 7876	ズールー : 9085	ビハール : 6672	ルーマニア : 8279
カザフ : 7575	セルビア : 8382	ビルマ : 7789	レトロマンヌ : 8277
カシミール : 7583	セルボクロアチア : 8372	フィジー : 7074	ロシア : 8285
カタロニア : 6765	ソマリ : 8379	フィンランド : 7073	
ガリチア : 7176	タイ : 8472	フェロー : 7079	
韓国 (朝鮮) 語 : 7579		フランス : 7082	

初期設定を変更する(つづき)

2 視聴制限 (設定方法 26 ページ)

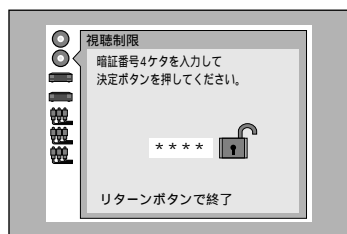
お子様などに見せたくない成人向けの DVD ビデオがそのまま再生されないようにできます。暗証番号を入力しない限り、再生や設定の変更はできません。

出荷時の設定



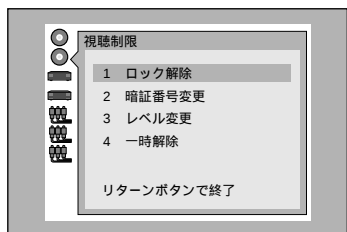
- レベル 8 : すべてのディスクが再生可
レベル 7 ~ 1 : 制限レベルの記録されているディスク (成人向けや暴力シーンを含むもの) が再生不可
レベル 0 : すべてのディスクが再生不可
- レベル 7 以下を選んだときはリモコンの数字ボタンで暗証番号 4 ケタを入力し、[ENTER] (決定) を押してください。(ロックがかかります。)
 - 間違った数字を入力してしまったときはリモコンの [取消し] を押すと取り消せます。

↓ レベル 7 ~ 0 のとき



お願い

- ロックすると正しい暗証番号を入力しない限り、設定内容を変更できなくなりますので、暗証番号は忘れないようにしてください。
- 制限レベルが記録されていないディスクを制限したいときは "0 すべて不可" を選んでください。

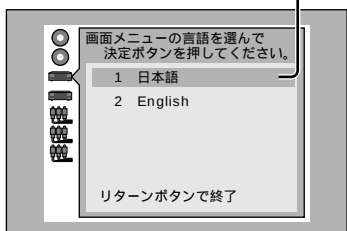


- 制限内容を変更するには (レベル 7 ~ 0 のとき) まずリモコンの数字ボタンで暗証番号 4 ケタを入力し、[ENTER] (決定) を押してください。
- 1 ロック解除 : 制限を解除してレベル 8 に戻す
 - 2 暗証番号変更 : 暗証番号を変更する
 - 3 レベル変更 : 制限レベルを変更する
 - 4 一時解除 : 一時的に制限を解除する
- ・ "4 一時解除" を選ぶと、電源を切るか内ぶたを開けるまでレベル 8 の状態が続きます。

3 画面メニュー言語 (設定方法 26 ページ)

"再生" などの画面表示や GUI 画面、初期設定画面の言語を選べます。

出荷時の設定

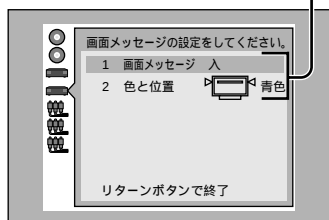


- 1 日本語
- 2 English (英語)

4 オンスクリーン (設定方法 ㊦ 26 ページ)

“再生” / “停止”などの画面表示の有無を選べます。(“画面メッセージ”)
また、これらの画面表示や GUI 画面の色 / 位置が選べます。(“色と位置”)

出荷時の設定



1 画面メッセージ
入 / 切

2 色と位置

1 青色 2 紫色 3 緑色

4 青色 5 紫色 6 緑色

表示画面の上端が欠けているときに選んでください。

9 エキスパート設定 (設定方法 ㊦ 26 ページ)

以下の特殊な設定ができます。

出荷時の設定



1 スチルモード (㊦ 下記) : 静止時のモードを選ぶ

2 早送り時の音声 (㊦ 30 ページ) :

DVD ビデオ / ビデオ CD の早送り 1 速時に音声を
出すかどうかを選ぶ

3 TVモード (4 : 3) (㊦ 30 ページ) :

標準サイズ (4 : 3) のテレビでワイドソフトを再
生するときの画面を選ぶ

4 音声のダイナミックレンジ圧縮 (㊦ 30 ページ) :

小さい音と大きい音の音量差を縮める
(ドルビーデジタルで記録された DVD ビデオのみ)

5 I / P / B インジケータ (㊦ 30 ページ) :

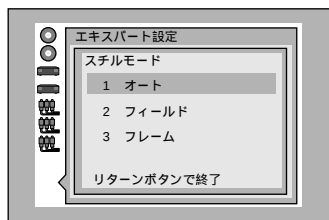
静止時に画像の種類 (I / P / B) を表示するかど
うかを選ぶ (DVD ビデオのみ)

6 DVD ビデオモード (㊦ 30 ページ) :

DVD オーディオを DVD ビデオとして再生するかど
うかを選ぶ

“早送り時の音声”について

- DVD オーディオ / CD の場合は、設定に関係なく早送り / 早戻し時にすべての速度で音が出ます。
- DTS で記録された CD の場合は、設定に関係なく早送り / 早戻し時に音が出ません。



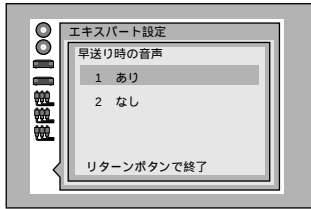
<スチルモード> (「フレーム / フィールド」㊦ 48 ページ)

1 オート : フレームスチルとフィールドスチルを
自動的に切り換える

2 フィールド : 常にフィールドスチルモードになる
(“オート”設定時に、画像のブレが発生するとき)

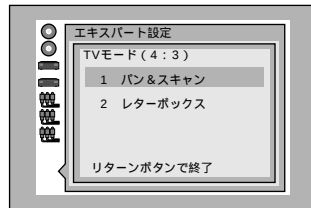
3 フレーム : 常にフレームスチルモードになる
(“オート”設定時に、小さい文字や細かい絵柄がはっ
きり見えないとき)

初期設定を変更する（つづき）



< 早送り時の音声 >

- 1 あり
- 2 なし（“あり”に設定して耳障りなとき）

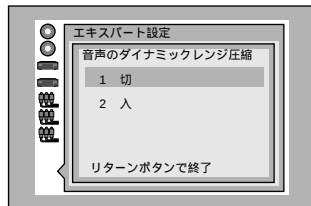


< TVモード（4：3）>

- 1 パン&スキャン ¹：両側または片側の切れた画面で再生
- 2 レターボックス ²：上下に黒帯の入った画面で再生



- ・ディスク側であらかじめパン&スキャンやレターボックスが指定されているときは、その指定が優先されます。



< 音声のダイナミックレンジ圧縮 >

（「ダイナミックレンジ」㊦48ページ）

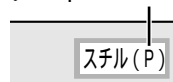
- 1 切
- 2 入（小音量でも聞き取りやすい音声で映画を楽しみたいときなど）



< I / P / B インジケータ >

（「I / P / B」㊦48ページ）

- 1 しない
- 2 する：静止時に画像の種類を表示
例）P-picture のとき



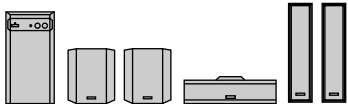
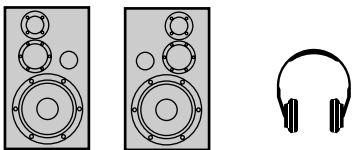
< DVD ビデオモード >

- 1 しない：DVD オーディオをそのまま再生するとき
- 2 する：DVD オーディオをDVD ビデオとして再生するとき

- ・電源を切るか内ぶたを開けると、設定値は“しない”に戻ります。

他の機器と組み合わせる

くわしくは各ページをご参照ください。『』内は機器に合わせて内容変更が必要な初期設定の項目です。

こんなときは	こんな方法があります	参照ページ
テレビ画面で映像を楽しむ 	テレビと接続する 『5 接続する TV』	32、 33
3 本以上のスピーカーでドルビーデジタルや DTS などのサラウンドサウンドを楽しむ 	アナログ接続 AV アンプ (5.1 ch 音声入力端子付) と接続する 『7 スピーカー設定』	34、 38
	デジタル接続 AV アンプ (デコーダー内蔵) と接続する 『6 デジタル出力』	35、 40
2 本のスピーカーやヘッドホンでステレオサウンドを楽しむ 	アナログ接続 アナログアンプ (ドルビープロロジックアンプを含む) やミニコンポと接続する 『7 スピーカー設定』	36、 38
	デジタル接続 デジタルアンプやミニコンポと接続する 『6 デジタル出力』	36、 40
	アクティブスピーカーシステムを接続する	37
	ヘッドホンを接続する	37
液晶画面でテレビ放送やビデオカメラの映像を見る	テレビチューナーユニットを接続する	45
	ビデオカメラを接続する	45

こんなこともできます

- ・カラオケソフトのボーカルを切り換える (㊦ 42 ページ)
- ・ヘッドホンや 2 本のスピーカーでサラウンド効果を楽しむ (㊦ 43 ページ)
- ・MD やカセットテープに録音する (㊦ 44 ページ)

お知らせ

- ・液晶画面を閉じると、本機のステレオスピーカーからは音が出なくなります。外部スピーカーやテレビを接続しているときは、液晶画面を閉じることをお勧めします。
- ・デジタル接続時は DVD オーディオのリニア PCM 信号が常に 48 kHz 以下に変換されます。192 kHz や 96 kHz でディスクを楽しみたいときは、アナログ接続してください。

192kHz

192 kHz で記録されたディスクの再生中は表示窓に“192 kHz”が点灯します。

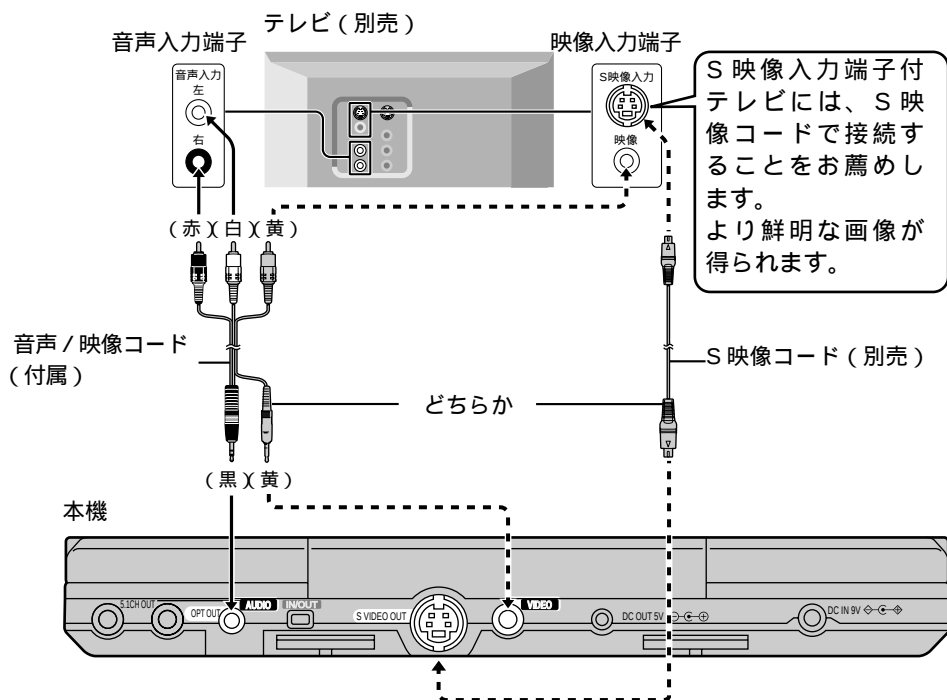
初期設定を変更する (つづき)

他の機器と組み合わせる

- ・接続の前に、接続する機器と本機の電源を切り、それぞれの機器の説明書もご参照ください。
- ・別売品の品番については 46 ページをご参照ください。

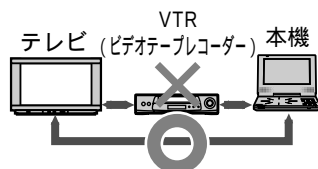
より大きな画面で楽しむ

テレビと接続する



お願い

- 本機のスピーカーは、防磁設計ではありません。テレビやパソコン等の近くに置かないでください。
- 本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。
VTR (ビデオテープレコーダー) や VTR 内蔵テレビのビデオ側端子を経由して接続すると、コピーガードの影響により、再生時に画面が乱れることがあります。
- DVD オーディオ / DVD ビデオ再生時は、テレビ放送に比べて音量が小さく感じられます。ディスクを再生したときにテレビの音量を上げ、その後テレビ放送に切り換える場合は、必ず元の音量に戻してください。突然大きな音が出ることがあります。

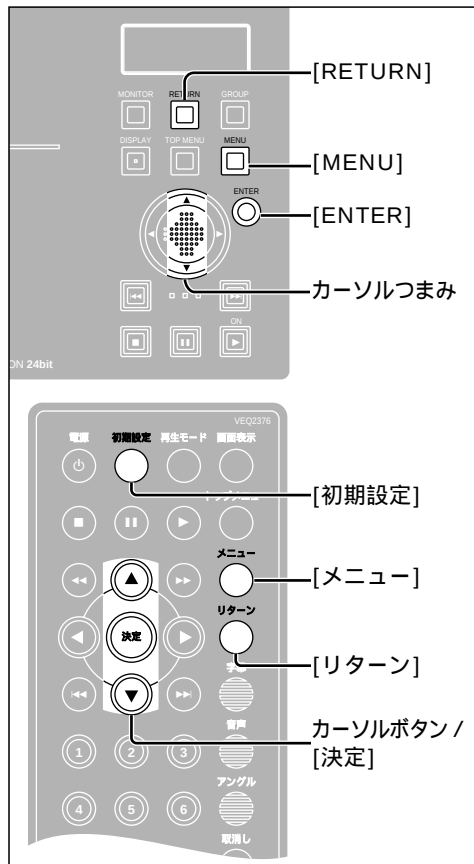


テレビに合わせて設定する

出荷時の設定は 16 : 9 (ワイドサイズのテレビ) になっています。

準備

- 本機およびテレビの電源を入れてください。
- テレビの外部入力を切り換えてください。

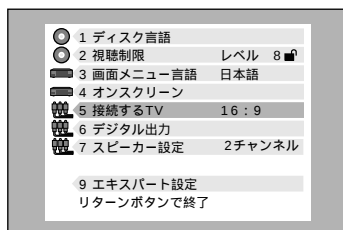


お願い

- 本機の液晶画面を使うときは必ず “ 16 : 9 ” に設定してください。
- スピーカーの設定が “ マルチチャンネル ” になっているときは “ 2 チャンネル ” に設定してください。(P38 ページ)
出荷時は “ 2 チャンネル ” に設定されています。

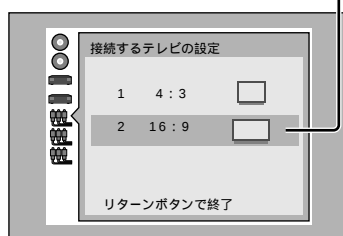
- 1 停止中
[初期設定]または[MENU](メニュー)を押して
初期設定画面を表示する

- 2 カーソル[▲、▼]を操作して
“ 5 接続する TV ” を選び
[ENTER] (決定) を押す



- 3 カーソル[▲、▼]を操作して
テレビの画面サイズ(横:縦)を選び
[ENTER] (決定) を押す

出荷時の設定



- 4:3 : 標準サイズのテレビ
- 16:9 : ワイドサイズのテレビ
または本機の液晶画面

- 4 [RETURN] (リターン) を押して
設定を終了する

■ ひとつ前の画面に戻るには
[RETURN] (リターン) を押す

より大きな画面で楽しむ

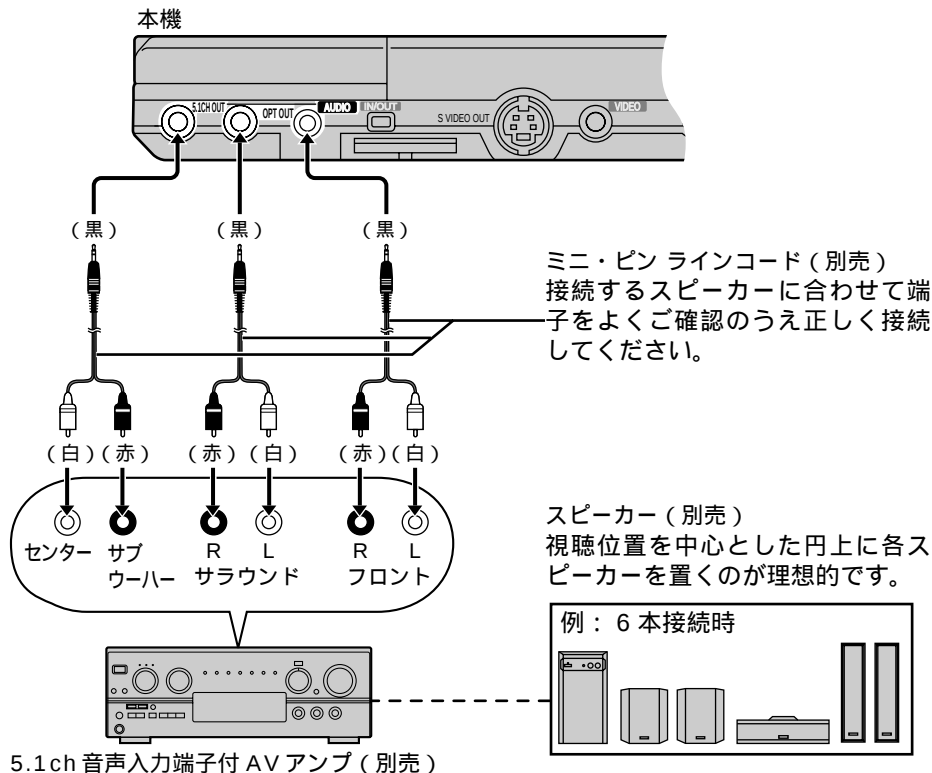
より迫力ある音声で楽しむ

3 本以上のスピーカーでサラウンドサウンドを楽しむ

< アナログ接続 >

本機はドルビーデジタル / DTS デコーダーを内蔵していますので、以下の接続だけで迫力あるサラウンドサウンドをお楽しみいただけます。

1 5.1ch 音声入力端子付 AV アンプと接続する



- ・サブウーハ - を接続しない場合は、フロントに 100 Hz 以下の低音を再生できるスピーカーを接続することをお勧めします。

2 接続したスピーカーに合わせて設定する (☞ 38 ページ)

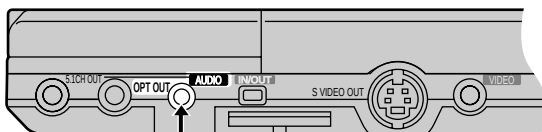
お願い

V.S.S. / ヘッドホン V.S.S. (☞ 43 ページ) は “OFF” (解除) にしてください。 “1” (標準) “2” (強) に設定すると、フロント(L / R) 以外のスピーカーから音が出ません。

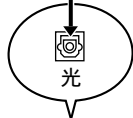
< デジタル接続 >

1 デコーダー内蔵の AV アンプ (デコーダー + AV アンプ) と接続する

本機



光デジタルケーブル (別売)
折り曲げないで接続してください。



光デジタル入力端子

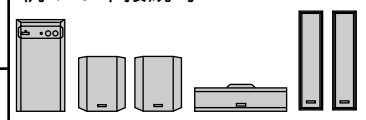
デコーダー (別売)

AV アンプ (別売)

スピーカー (別売)
視聴位置を中心とした円上に各スピーカーを置くのが理想的です。

AV アンプ (デコーダー内蔵) (別売)

例: 6 本接続時



2 接続したデジタル機器に合わせて設定する (P.40 ページ)

お知らせ

DVD ビデオに対応していない DTS デコーダーは使用できません。

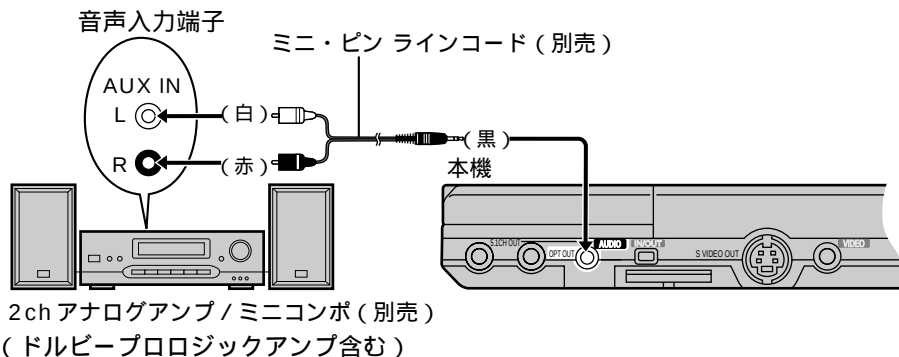
より迫力ある音声で楽しむ

ステレオサウンドをもっと楽しむ

2本のスピーカーで楽しむ

< アナログ接続 >

1 2ch アナログアンプやミニコンボと接続する



2 スピーカーの設定を“2チャンネル”に設定する (㊦ 38 ページ)

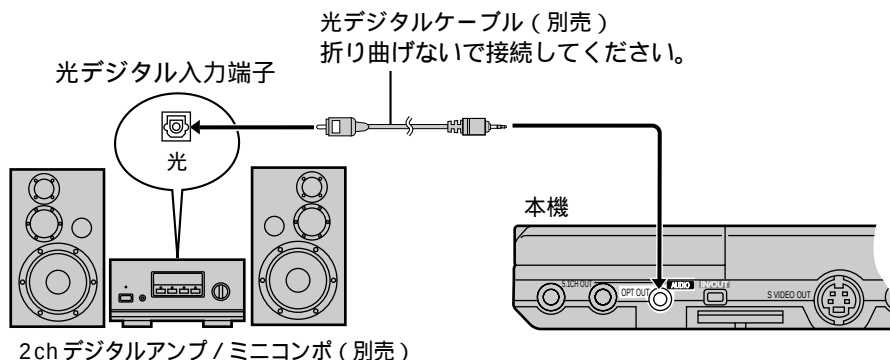
ドルビープロロジックのサラウンド効果を楽しむには
(「ドルビープロロジック」㊦ 48 ページ)

上記の接続例に加えて、センター、サラウンドのスピーカーが別途必要となります。
接続した機器の説明書をご参照ください。

・また、この場合 V.S.S. / ヘッドホン V.S.S. (㊦ 43 ページ) は“OFF”(解除)にしてください。“1”(標準)“2”(強)に設定するとサラウンド効果が正しく働きません。

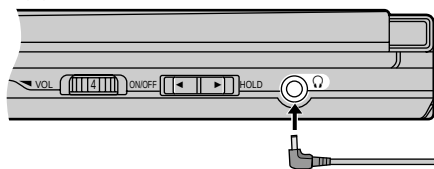
< デジタル接続 >

1 2ch デジタルアンプやミニコンボと接続する

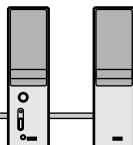


アクティブスピーカーシステムで楽しむ

本機



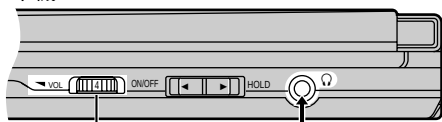
アクティブスピーカーシステム（別売）



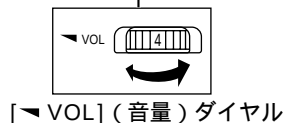
ヘッドホンで楽しむ

いったん音量を下げて、接続してから音量を調節してください。

本機



ヘッドホン（別売）



ステレオミニジャック（M3）
のものをご使用ください。

お知らせ

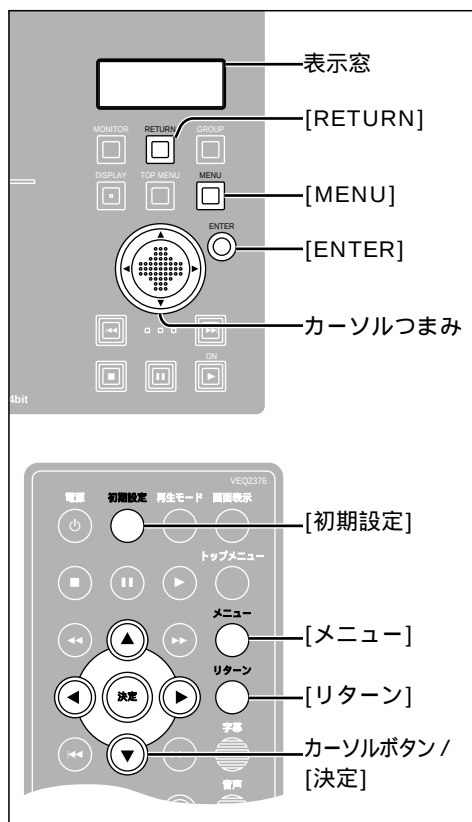
アクティブスピーカーやヘッドホンを接続したときは、本機のステレオスピーカーからは音が出ません。

ステレオサウンドをもっと楽しむ

スピーカーの設定をする

準備

本機および接続した機器の電源を入れてください。



お知らせ

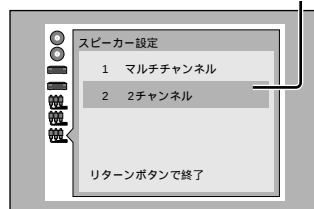
- 光デジタルケーブルでデジタル接続しているときは、接続した機器側で設定してください。
- マルチチャンネルのディスクを再生中は、表示窓に設定状態が表示されます。
“マルチチャンネル”に設定しているとき



表示窓の **MULTI** が点滅するときは、ディスク側の制約によりスピーカーの設定通りに音が出ない場合があります。

設定方法

- 1 停止中
[初期設定]または[MENU] (メニュー) を押して
初期設定画面を表示する
- 2 カーソル [▲、▼] を操作して
“ 7 スピーカー設定 ” を選び
[ENTER] (決定) を押す
- 3 カーソル [▲、▼] を操作して
項目を選び
[ENTER] (決定) を押す
出荷時の設定



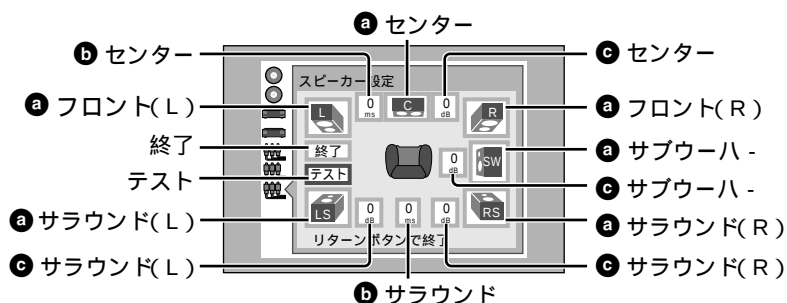
- ・マルチチャンネル
(スピーカーを3本以上接続するとき)
- ・2チャンネル
(スピーカーを2本接続するとき / ドルビープロロジックアンプを接続するとき)

“2チャンネル”を選ぶと初期設定画面に戻ります。

- 4 < “マルチチャンネル”を選んだ場合 >
39ページの画面が表示されます。
以下の手順で **a b c** を設定してください。
 - 1 カーソル [▲、▼、◀、▶] で項目を選び[ENTER] (決定) を押す
 - 2 カーソル [▲、▼] で内容を変更し、[ENTER] (決定) を押す
全て設定したら “終了” を選び
[ENTER] (決定) を押してください。
- 5 [RETURN] (リターン) を押して
設定を終了する

- ひとつ前の画面に戻るには
[RETURN] (リターン) を押す

“マルチチャンネル”を選んだ場合の設定内容

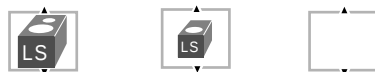


a スピーカーの有無とサイズ

- ・フロント (L / R) : あり (大) / あり (小)
- ・センター : あり (大) / あり (小) / なし
- ・サブウーハー : あり / なし
- ・サラウンド (L / R) : あり (大) / あり (小) / なし

サラウンド (L) の場合の表示例

あり (大) あり (小) なし



大、小は 100 Hz 以下の低音を再生できる場合 (大) ができない場合 (小) を目安にしてください。

b ディレイタイム

(ドルビーデジタルで記録された DVD ビデオのセンター / サラウンドチャンネルのみ)

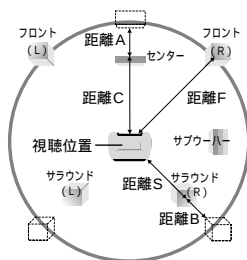
すべてのスピーカーは左記のような円上に置くのが理想的ですが、置けない場合でもディレイタイムの設定をすると音声出力に遅延効果を与え仮想的に理想の視聴位置を実現します。

< センター >

距離 A = 距離 F - 距離 C

< サラウンド >

距離 B = 距離 F - 距離 S



距離 A	設定値
約 50 cm	1.3 ms
約 100 cm	2.6 ms
約 150 cm	3.9 ms
約 200 cm	5.3 ms

距離 B	設定値
約 200 cm	5.3 ms
約 400 cm	10.6 ms
約 600 cm	15.9 ms

c 出力バランス

1 “テスト”を選び[ENTER] (決定)を押す

「ザ - 」というテスト音がフロントスピーカー (L) から時計周りに出力されます。

フロントと同じ音量で聞こえるように各スピーカーの音量をカーソル[▲、▼]で調節してください。

2 [ENTER] (決定)を押す (音が止まります。)

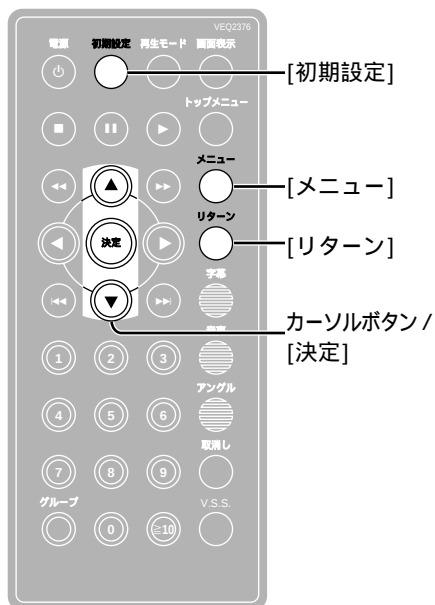
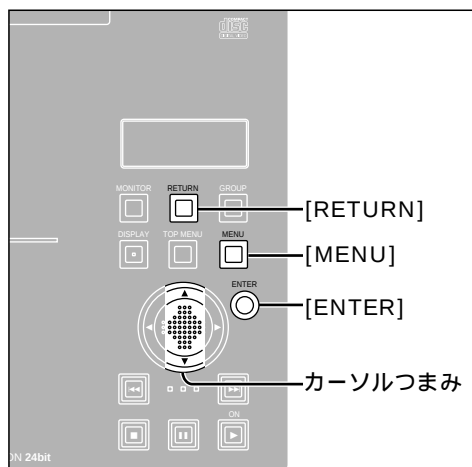
・サブウーハーからはテスト音が出力されません。ディスクを再生し、音量を確認してから調節してください。

スピーカーの設定をする

デジタル出力の設定をする

準備

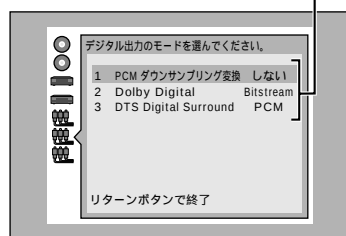
本機および接続した機器の電源を入れてください。



設定方法

- 1 停止中
[初期設定]または[MENU](メニュー)を押して
初期設定画面を表示する
- 2 カーソル[▲、▼]を操作して
“ 6 デジタル出力 ” を選び
[ENTER] (決定) を押す
- 3 カーソル[▲、▼]を操作して
項目 / 内容を選び
[ENTER] (決定) を押す

出荷時の設定



- PCM ダウンサンプリング変換 (DVD ビデオのみ) :
リニア PCM96 kHz で記録されたディスク再生時の出力
- Dolby Digital :
ドルビーデジタルで記録されたディスク再生時の出力
- DTS Digital Surround :
DTS で記録されたディスク再生時の出力

DVD オーディオは動画部でのみ設定効果があります。

- 4 [RETURN] (リターン) を押して
設定を終了する

■ ひとつ前の画面に戻るには
[RETURN] (リターン) を押す

設定内容

■ PCM ダウンサンプリング変換

- ・しない（ミニ・ピン ラインコードでアナログ接続するとき）
- ・する（光デジタルケーブルでデジタル接続するとき）
著作権保護のため、出力は 48 kHz / 16 bit 以下に制限されます。

< 96 kHz で記録された DVD ビデオを再生するときは >

接続方法と設定値によって以下のような音声出力されます。

接続方法 設定値	アナログ接続	デジタル接続
しない	96 kHz で出力	出力しない (著作権保護の処理がされていないディスクの場合は 96 kHz で出力)
する	48 kHz に変換され出力	48 kHz / 16 bit に変換され出力

ただし 96 kHz の高音質でディスクを楽しむには、接続先の機器がサンプリング周波数 96 kHz に対応している必要があります。

■ Dolby Digital

- ・Bitstream（ドルビーデジタルデコーダーを内蔵する機器と接続するとき）
- ・PCM（ドルビーデジタルデコーダーを内蔵しない機器と接続するとき）

■ DTS Digital Surround

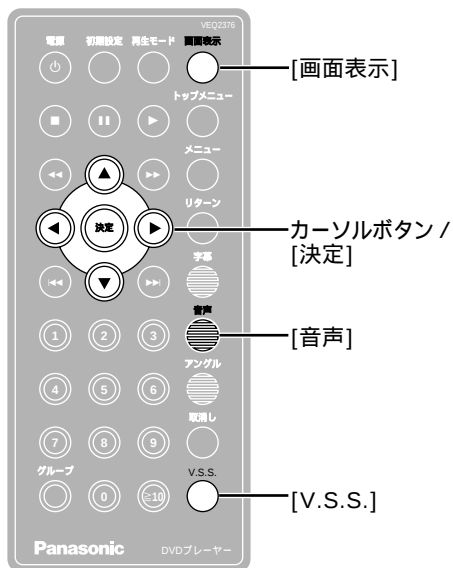
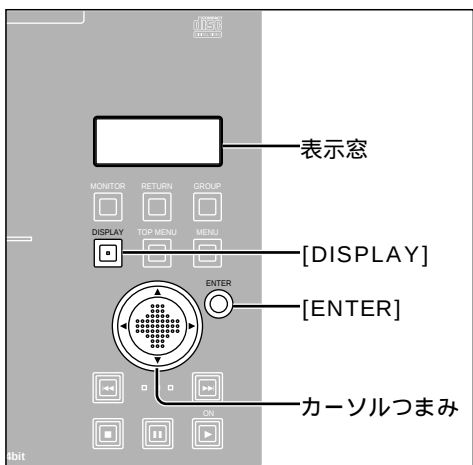
- ・PCM（DTS デコーダーを内蔵しない機器と接続するとき）
- ・Bitstream（DTS デコーダーを内蔵する機器と接続するとき）

お願い

デコーダーを持たない機器に接続する場合、“Dolby Digital”と“DTS Digital Surround”は必ず“PCM”に設定してください。

正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損する恐れがあるほか、MDなどに正しく録音できません。

その他の楽しみかた



カラオケソフトのボーカルを切り換える リモコンのみ

DVD-V VCD

(カラオケディスク)

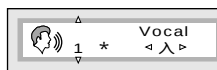
準備

マイク入力端子付のAVアンプなどに接続してください。(P.34 ~ 36 ページ)

1 再生中 [音声]を押す

< DVD ビデオ >

< ビデオ CD >



2 < DVD ビデオの場合 > カーソル[◀、▶]を操作して ボーカルを切り換える 以下のように切り換わります。

・ソロディスク

---^{※1}(切) ↔ 入

・デュエットディスク

---^{※1}(切) ↔ 1+2 (入) ↔ V1^{※2}(入) ↔ V2^{※2}(入)

< ビデオ CD の場合 >

カーソル[▲、▼]を操作して
または[音声]を押して
ボーカルを切り換える
以下のように切り換わります。

→ LR : ボーカルあり
(右よりに聞こえる)

↕
L^{※1} : ボーカルなし

↕
→ R : ボーカルあり
(左右均等に聞こえる)

^{※1} カラオケができます。

^{※2} 一人でもデュエットができます。

■ 表示を消すには

[決定] (ENTER) を押す

しばらく放置しておいても自然に消えます。

ヘッドホンや2本のスピーカーでサラウンド効果を楽しむ

DVD-V

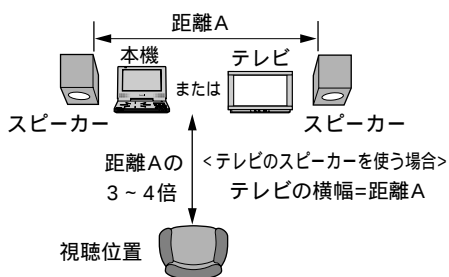
準備

- ・ヘッドホンや外部スピーカーと接続してください。(P.36、37ページ)
- ・接続した機器のサラウンド機能を「切」にしてください。

V.S.S. (バーチャルサラウンドサウンド) 機能を使うと音に広がりを与え、フロントスピーカー (L / R) やヘッドホンだけでサラウンド効果を楽しむことができます。V.S.S.には以下の2つのモードがあります。
V.S.S. : スピーカーで楽しむ
ヘッドホン V.S.S. : ヘッドホンで楽しむ
出荷時はヘッドホン V.S.S. に設定されています。

<サラウンド信号があるディスクの場合>
音に広がりが出るほか、スピーカーの存在しない横方向からもサラウンド信号が出ているように聞こえます。

<V.S.S.の効果的な視聴位置>



(ドルビーデジタル2ch以上のディスク)

再生中リモコンの[V.S.S.]を押して
効果のレベルを切り換える
押すたびに表示窓の文字が切り換わります。

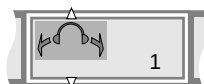
1 (標準) → 2 (強)

↑ OFF (解除) ↓

- ・GUI画面を使っても同様の操作ができます。
(P.25ページ「V.S.S.モード / V.S.S.レベル」)

■ V.S.S.モードを切り換えるには

- 1 再生中[DISPLAY] (画面表示) を押して
GUI画面 (本機の情報画面 P.25ページ)
を表示する
- 2 カーソル[◀、▶]を操作してV.S.S.ア
イコンを選ぶ



- 3 カーソル[▲、▼]を操作してV.S.S.モード
を選ぶ

< V.S.S. >

< ヘッドホン V.S.S. >



接続した機器に合わせて正しく設定してく
ださい。

その他の楽しみかた

お知らせ

- ・V.S.S.が動いているときは表示窓に設定状態が表示されます。

例) ヘッドホン V.S.S.の場合

SP : V.S.S.のとき



点滅したのち点灯

HP : ヘッドホン V.S.S.のとき

- ・ディスクによってサラウンド効果が出にくいものや、出ないものがあります。
- ・ディスクによって音声がひずむことがあります。その場合はV.S.S.を“OFF”(解除)にしてください。
- ・本機のステレオスピーカーでは十分な効果は得られません。

その他の楽しみかた（つづき）

MD やカセットテープに録音する

< アナログ録音 >

アナログ信号に変換された音声を、コピーガードの影響を受けずにカセットテープやMDに録音できます。

< デジタル録音 >

デジタル信号のまま MD などに録音できます。ただし全ての信号がリニア PCM48 kHz 以下に変換されます。また、以下の条件が必要です。

- ディスクに著作権保護の処理がされていない。
- 録音側の機器がサンプリング周波数 48 kHz / 16 bit に対応している

< アナログ録音するには >

- 1 録音機器とアナログ接続する（[㊦ 34、36 ページ](#)）
 - 録音機器と直接接続したいときは、36 ページの接続方法を行ってください。
- 2 スピーカーの設定を“2 チャンネル”に設定する（[㊦ 38 ページ](#)）
 - “マルチチャンネル”に設定していると、フロント（L / R）の音声しか録音されません。

< デジタル録音するには >

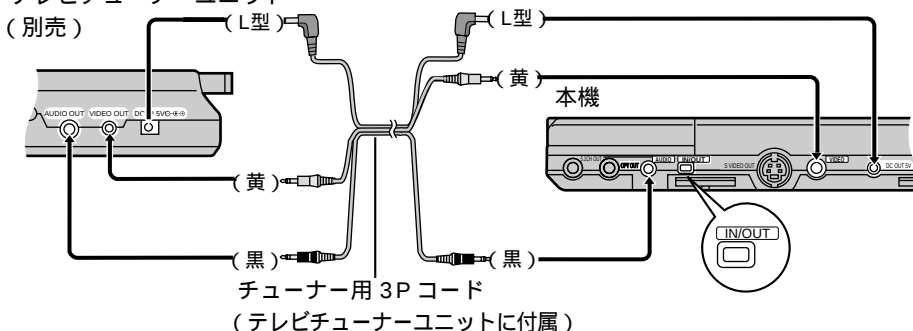
- 1 録音機器とデジタル接続する（[㊦ 35、36 ページ](#)）
 - 録音機器と直接接続したいときは、36 ページの接続方法を行ってください。
- 2 デジタル出力の設定をする（[㊦ 40 ページ](#)）
 - 以下のように設定してください。
“PCM ダウンサンプリング変換”：“する”
“Dolby Digital” / “DTS Digital Surround”：“PCM”

液晶画面でもっと楽しむ

テレビチューナー（別売）でテレビ放送を楽しむ 品番：DY-DT50

1 接続する

テレビチューナーユニット
（別売）



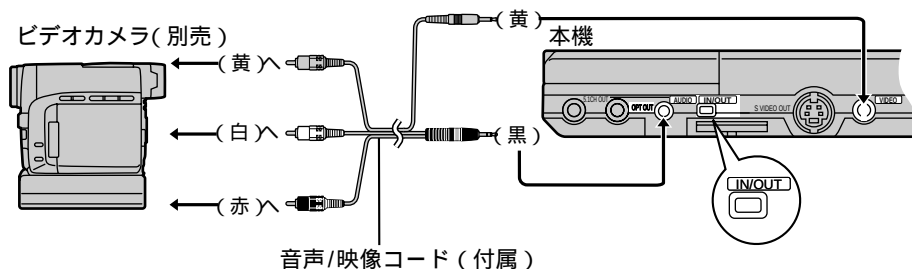
2 [IN/OUT]を押して外部入力モードに切り換える

表示窓の “ **LINE-IN** ” が点灯します。

ビデオカメラで撮った映像を楽しむ

1 接続する

ビデオカメラ（別売）



2 [IN/OUT]を押して外部入力モードに切り換える

表示窓の “ **LINE-IN** ” が点灯します。

お知らせ

- 電源を切ると外部入力モードは解除されます。続けてテレビ放送やビデオの映像を楽しむときは、必ずもう一度[IN/OUT]を押して表示窓の “ **LINE-IN** ” を点灯させてください。
- 外部入力モードのときにはオートパワーオフ（P.9 ページ）は働きません。続けて再生しないときは必ず電源を切っておいてください。

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利権者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。

この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、またマクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

この製品は米国 DTS 社からの実施権に基づき製造されています。
「DTS」および「DTS デジタルサラウンド」は DTS 社の商標です。
著作権 1996 年 DTS 社。不許複製。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Pro Logic 及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
非公開機密著作物。著作権 1992 - 1999 年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

別売品のご紹介

別売品の品番は、2000 年 5 月現在のものです。品番は変更されることがあります。

S 映像コード	RP-CVS0G10 (1.0 m)
	RP-CVS0G20 (2.0 m)
	RP-CVS0G30 (3.0 m)
	RP-CVS0G50 (5.0 m)
AV アンプ (AV コントロールアンプ)	SA-DX930*
フロントスピーカー (L/R)	SB-LV500 (左右 1 組)
センタースピーカー	SB-C500
サラウンドスピーカー (L/R)	SB-S500 (左右 1 組)
アクティブサブウーハー	SB-AS30
ミニ・ピン ラインコード	RP-CAPM3G15 (1.5 m)
光デジタルケーブル	RP-CA2105A (0.5 m)
	RP-CA2110A (1.0 m)
	RP-CA2120A (2.0 m)
ステレオヘッドホン	RP-HC100
	RP-HT870
	RP-HS70
ステレオインサイドホン	RP-HV570
アクティブスピーカーシステム	RP-SP90
テレビチューナーユニット	DY-DT50
バッテリーパック	DY-DB75

* 5.1ch 音声入力端子とドルビーデジタル / DTS デコーダーを装備しています。

使用上のお願い・お手入れ

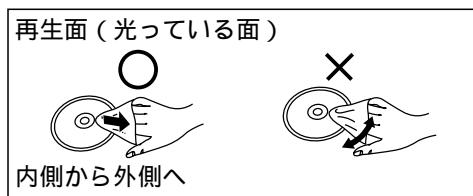
ディスクについて

■持ちかた



■汚れたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、あとは空ぶきしてください。



■露がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

■取扱上のお願い

ディスクそのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

- ・鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- ・レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- ・傷つき防止用のプロテクターなど当社指定外の市販品は使わない
- ・紙やシール、ラベルを貼らない
- ・シールやラベルがはがれかけたり、のりがはみ出しているディスクは使わない
- ・市販のラベルプリンターで表面に印刷したディスクは使わない

ディスクの保管

次のような場所は避けてください。

- ・直射日光の当たるところ
- ・湿気やほこりの多いところ
- ・暖房器具の熱が直接当たるところ

故障防止のために

以下のことは避けてください。

- ・強い衝撃、落下や雨にぬらす
- ・揮発性の殺虫剤などをかける
- ・液晶画面を強い力で押す
- ・内ぶた内部のレンズなど光ピックアップ部に触れる

以下のような場所で使用しないでください。

- ・風呂場など湿気の多いところ
- ・倉庫などほこりが多いところ
- ・浜辺など砂の多いところ
- ・アンプなど高温になる機器の上や、座布団やソファの上

お手入れ

本機が汚れたら

柔らかい布でふいてください。

ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後は空ぶきしてください。

- ・液晶部のひどい汚れには、メガネクリーナーをお勧めします。
- ・アルコールやシンナーは使わないでください。
- ・化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

良い音でお楽しみいただくために

別売りのCD レンズクリーナーで定期的にお手入れすることをお勧めします。

推奨品：品番 RP-CL510



用語解説

トラック

DVD オーディオ / ビデオ CD / CD のディスクを分ける、いくつかの小さな区切りのことです。

タイトル / チャプター

DVD ビデオのディスクを分ける、いくつかの大きな区切り（タイトル）と小さな区切り（チャプター）のことです。

グループ

DVD オーディオのディスクに入っているトラックの組み合わせのことです。

プレイバックコントロール

ビデオ CD の再生方式のひとつで、表示されるメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を選ぶことができます。

本書ではメニュー画面を使って再生することを、ビデオ CD の「メニュー再生」と呼びます。

ドルビーデジタル

ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮技術です。ステレオ（2ch）はもちろん、5.1ch のサラウンド音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

デジタルシアターシステム DTS (Digital Theater Systems)

世界中の多くの映画館で採用されている 5.1ch のサラウンドシステムです。チャンネル間のセパレーションも良く、リアルな音響効果が得られます。

ドルビープロロジック

4 チャンネル信号を 2 チャンネルに記録し、再び 4 チャンネルの独立した信号に戻して再生するサラウンドシステムです。サラウンド信号はモノラルで、7 kHz まで再生されます。

ビットストリーム Bitstream

デジタルに置き換えられ、圧縮された音声信号です。デコーダーによって、5.1ch などの独立したチャンネルの音声データにデコード（復号）されます。

リニア PCM 音声 (LPCM)

圧縮せずにデジタルに置き換えられた音声信号です。DVD オーディオや DVD ビデオは容量が大きいので、CD 以上の精度でデータを収録することができます。また、リニア PCM 信号をコンパクトにしたものをパワード PCM (PPCM) といいます。

ダイナミックレンジ

機器が出すノイズにうもれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。

フレーム / フィールド

フレームとは、動画の 1 コマ 1 コマのことで、テレビの場合は、1 秒間に 30 コマの画像が映し出されています。1 フレームはさらにフィールドと呼ばれる 2 枚の画面からなっています。



- フレームスチルのときは、2 枚のフィールドの間でブレが生じることがありますが、画質は良くなります。
- フィールドスチルのときは、情報量が少ないため画像は少し粗くなりますが、ブレを生じません。

I / P / B

DVD ビデオでは、データを効率よくディスクに収めるため、画面間で共通するデータは共用し、異なるデータは各画面ごとに記録するという方法をとっています。このとき共用データの基準画面として単独で記録されるフレームが I-picture、過去の I-picture を元につくられるフレームが P-picture、I / P 両方を元につくられ、両者の間をうめるフレームが B-picture です。画質がもっとも良いのは I-picture です。画質調整をするときは、I-picture で静止することをお勧めします。

Q & A (よくあるご質問)

Q (質問)		A (回答)	参 照 ページ
使 い 方	5.1ch サラウンド 音 声 を 楽 し む に は、どのような機 器が必要か	AV アンプ (5.1ch 音声入力端子付) と 6 本のスピー カーをご用意ください。本機にはドルビーデジタル / DTS デコーダーが内蔵されていますので、デコーダー を接続しなくても 5.1ch サラウンド音声楽しめます。	34
	海外でも使えるか	地域に合わせた変換プラグをご用意いただくと、海 外旅行にも持ちいただけます。 ただし本製品は日本国内向けに設計されているため、 海外で常時使用はしないでください。また、本機の 映像方式は NTSC ですので、PAL 方式のテレビとつ なぐことはできません。 保証は国内のみ有効です。	**
	海 外 で 買 っ た DVD ビデオを再 生できるか	リージョン番号が「ALL」もしくは「2」を含んでい て、映像方式が NTSC であれば再生できます。ディ スクのジャケットをご確認ください。	6、7
	リージョン番号が ないディスクは再 生できるか	DVD オーディオにリージョン番号はありません。 DVD ビデオのリージョン番号は、ディスクが規格に 適合していることを表しています。規格を満たして いない DVD ビデオは再生できません。	**
	機内で使えるか	本機が出す電磁波により、飛行機の計器に影響を与え るおそれがあります。航空会社の指示に従ってください。	**
	車内で使えるか	車のシガレットライターソケットからは電源をとら ないでください。故障するおそれがあります。 また運転中は使用しないでください。	**
	病院で使えるか	本機が出す電磁波により、医療機器に影響を与え るおそれがあります。病院の指示に従ってください。	**
接 続	品番：DY-DB50 のバッテリーパッ クは使えるか	ご使用いただけません。本機専用のバッテリーパック (品番：DY-DB75) をお使いください。	**
	パソコンと接続で きるか	AV 入力端子付のパソコンと接続すると、テレビのよ うにパソコンのモニターでディスクの再生をお楽し みいただけます。ただし、パソコンの周辺機器とし てはお使いいただけません。	**

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

こんなときは		ここを確認 / 処置してください	参照ページ
電源について	電源が入らない	電源に正しく接続されていますか？	8
		ホールド状態になっていませんか？	10
		バッテリーの残量を確認してください。	9
		バッテリーパック単独使用時は、リモコンで電源を入れることができません。	9
	勝手に電源が切れる	停止状態で放置すると AC アダプター使用時は約 15 分で、バッテリーパック単独使用時は約 5 分で電源が切れます。(オートパワーオフ) 電源を入れ直してください。	9
バッテリーパックについて	充電できない ([CHG] ランプが点灯しない)	電源が入っていると充電できません。	8、9
		温かくなっているバッテリーパックは、通常よりも充電時間が長くかかったり、充電できない場合があります。バッテリーパックが冷えてから充電してください。	**
		接続を確認してください。	8
	バッテリーパックで使用できない	高 / 低温下では保護回路が働き、使用できない場合があります。常温下 (5 ~ 35) で使用してください。	**
操作について	各ボタン操作ができない	ディスクによっては、特定の操作を禁止している場合があります。	7、11
		ホールド状態になっていませんか？	10
		落雷や静電気などの影響により、本機が正常に動作しないことがあります。本機の電源を一度「切」「入」してみてください。または、電源を切って AC アダプターを抜き、もう一度差し込んでください。	**
	[▶] を押しても、再生が始まらない (またはすぐに停止する)	寒い所から急に暖かい所へ持ち込むと露つきが発生する場合があります。(1 ~ 2 時間放置してください。)	**
		DVD オーディオ / DVD ビデオ / ビデオ CD / CD 以外のディスクは再生できません。	6
		ディスクが汚れていませんか？	47
		ディスクを正しくセットしてください。	10
		初期設定 “ 2 視聴制限 ” の設定を確認してください。	28
	リモコンで操作できない	電池の ⊕ ⊖ を確かめて正しく入れてください。	7
		電池が消耗している場合は、新しいものに交換してください。	7
		リモコン受信部に正しく向けて操作してください。	7

こんなときは

ここを確認 / 処置してください

参照ページ

操作について	DVD カラオケ再生中に、ボーカルが出ない	光デジタルケーブルを使って他の機器と接続しているときは、“ 6 デジタル出力 ” で “ Dolby Digital ” を “ PCM ” に設定してください。	40
	カラオケソフトの再生中、1 曲終わるたびにメニュー画面に戻る	カラオケソフトの大半は、選んだ曲が終わるたびにメニュー画面に戻るように制作されています。メニュー画面に「全曲再生」という項目がある場合は、その項目を選ぶと全曲が再生されます。	**
	音声 / 字幕言語が切り換えられない	一つしか言語が記録されていないディスクでは切り換えできません。	**
		音声 / 字幕切り換え操作では切り換えできないが、メニュー画面等で切り換えできるディスクもあります。	**
	字幕が出ない	字幕の入っていないディスクでは表示されません。	**
		字幕が “ 切 ” になっていませんか？	21
		A-B リピート再生の A 点、B 点や、マーカーでマークを付けた箇所の前後では、字幕が表示されないことがあります。	**
	アングルを切り換えられない	複数のアングルが記録されていないディスクでは切り換えることができません。また、複数のアングルが特定の場面のみ記録されているディスクもあります。	**
	視聴制限で設定した暗証番号を忘れた	以下の操作で、すべての設定を工場出荷時に戻してください。停止状態で、本体の [■] と [◀◀] を押しながら、[▶、ON] を 3 秒以上押し続ける。 (画面の “ オールクリア ” が消えたことを確認し、電源を一度切ってください。)	**
	すべての設定を工場出荷時に戻したい		

音声について	雑音が聞こえる	本機と携帯電話を近づけて使っているときは、本機から携帯電話を離してください。	**
	本機のスピーカーから音が出ない	液晶画面を閉じていませんか？	**
		[◀ VOL] (音量) ダイアルが 「 0 (無音) 」 になっていませんか？	11
		アクティブスピーカーやヘッドホンをつないでいませんか？	37
	外部スピーカーから音が出ない	接続、設定を確認してください。	34-41
		接続した機器の入力切換は正しいですか？	**
	音が出ないトラックがある	再生中のディスクが規格に違反している可能性があります。	**

故障かな!?

故障かな!?(つづき)

こんなときは	ここを確認 / 処置してください	参照 ページ
音声について	音声の一部が聞こえない	接続したスピーカーに合わせて正しく設定していますか? 38
		アナログ接続で3本以上のスピーカーをつないでいるときはV.S.S./ヘッドホンV.S.S.を“OFF”(解除)にしてください。 43
		DVDオーディオにはディスク側の制約により、5.1ch出力でないと正しく再生されないものがあります。このようなディスクを5本以下のスピーカーで再生すると、スピーカーのあるチャンネルの音声しか出力されません。また本体スピーカーやヘッドホンで再生すると、フロント(L/R)の音声しか出力されません。 **
映像について	液晶画面が暗い	明るさを調整してください。 17
	早送り/早戻しをした たら、画像が乱れる	多少乱れが出ることがありますが、故障ではありません。 **
	液晶画面に映像が 映らない(外部機 器から取り込んだ 映像を含む)	接続を確認してください。 45
		外部入力切換は正しいですか? 表示窓の“LINE IN”の点灯状態を確認してください。 ・ディスクを再生する場合: 消灯 ・外部機器から取り込んだ映像を映す場合: 点灯 45
		表示モードが“4”(オフ)になっていませんか? 17
		接続先の機器の電源は入っていますか? **
	テレビに映像が映 らない(または画 面サイズがおかし い)	接続を確認してください。 32
		テレビの電源は入っていますか? **
表示について	画面メッセージが 出ない	初期設定“4 オンスクリーン”の“1 画面メッセージ”を“入”にしてください。 29
	GUI画面が欠ける (または表示され ない)	初期設定“4 オンスクリーン”の“2 色と位置”でGUI画面の位置を変更してください。 29
	表示窓に“NO PLAY” と表示する	再生できないディスクが入っています。 6
	表示窓に“□-□ Err”と表示する (□は数字)	規格に違反したトラックを再生しています。 例“9-3 Err”(グループ9のトラック3が規格違反です。) **

こんなときは	ここを確認 / 処置してください	参照ページ
--------	------------------	-------

表示について	表示窓に“ bat Err □ ”と表示する (□は数字)	“ bat Err 1 ” : バッテリーパックに異常が発生しました。 お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。	**
		“ bat Err 2 ” : 12 時間充電し続けましたが、何らかの理由で完全充電されていません。 再度充電してください。	**
		“ bat Err 3 ” : 充電中にバッテリーパックが異常加熱しています。冷えてから、再度充電してください。	**
	表示窓に“ U I I ”と表示する	ディスクがよごれています。	47
	表示窓に“ H □ □ ”と表示する (□□は数字)	異常が発生しました。 (“ H ”以降の数字は、本機の状態によって変わります。) 電源を一度、「切」「入」してください。または、電源を切ってACアダプターを抜き、もう一度差し込んでください。	**

■ 処置をされても“ U I I ”、“ H □ □ ”と表示するときは

お買い上げの販売店または、お近くの「修理ご相談窓口」(㊦58 ~ 59 ページ) に修理をご依頼ください。その場合、画面に表示される番号をお知らせください。(例 “H01”)

ランプの点滅について	操作ボタンを押すと[⬇]ランプが点滅する	ホールド状態になっていませんか？解除してください。	10
		表示窓に“ INEN ”が点灯していませんか？ [IN/OUT]を押して消灯させてください。	45
	[⬇]ランプがゆっくり点滅する	電源が入った状態で、液晶画面が閉まっているか表示モードが“ 4 ”(オフ)になっています。再生しないときは電源を切ってください。	**
	[CHG]ランプが点滅する	バッテリーパックに異常が発生しました。表示窓の表示をご確認ください。(㊦ 上記)	**
	[CHG]ランプがゆっくり点滅する	電池残量が少なくなっています。(数分 ~ 10 分前後すると、電源が切れます。)	**

故障かな!?(つづき)

お知らせ

以下の現象が起こることがありますが、異常ではありません。

- ・充電中に、AC アダプターの内部で音がする。
- ・充電後やバッテリーパックで使用中に、バッテリーパックが多少熱くなる。
- ・少数の画素が黒や特定の色に光る。(液晶部品の性格によるものです。)

初期設定一覧表

再生操作の前にあらかじめ設定しておける内容（初期設定）を一覧表にしています。
詳しくは、各ページをご参照ください。（下線部：出荷時の設定）

メニュー項目	設定内容				参照ページ
1 ディスク言語	音声言語	・ <u>日本語</u> ・ 英語 ・ オリジナル ・ その他			27
	字幕言語	・ <u>オート</u> ・ 日本語 ・ 英語 ・ その他			
	メニュー言語	・ <u>日本語</u> ・ 英語 ・ その他			
2 視聴制限	8 すべて視聴可				28
	7 ~ 0 すべて不可	・ ロック解除 ・ 暗証番号変更 ・ レベル変更 ・ 一時解除			
3 画面メニュー言語	<u>日本語</u>				28
	English				
4 オンスクリーン	画面メッセージ	・ <u>入</u> ・ 切			29
	色と位置	・ 青色 ・ 紫色 ・ 緑色 ・ 青色(少し下) ・ 紫色(少し下) ・ 緑色(少し下)			
5 接続するTV	4 : 3				33
	<u>16 : 9</u>				
6 デジタル出力	PCM ダウンサンプリング変換	・ <u>しない</u> ・ する			40
	Dolby Digital	・ <u>Bitstream</u> ・ PCM			
	DTS Digital Surround	・ <u>PCM</u> ・ Bitstream			
7 スピーカー設定	マルチチャンネル	スピーカーの 有無と サイズ	フロント (L / R) ・ <u>あり(大)</u> ・ あり(小)		38
			センター ・ <u>あり(大)</u> ・ あり(小) ・ なし		
			サブウーハ - ・ <u>あり</u> ・ なし		
			サラウンド (L / R) ・ <u>あり(大)</u> ・ あり(小) ・ なし		
		ディレイ タイム	センター ・ <u>0</u> ・ 1.3 ・ 2.6 ・ 3.9 ・ 5.3 ms		
			サラウンド (L / R) ・ <u>0</u> ・ 5.3 ・ 10.6 ・ 15.9 ms		
	出力バ ランス	センター	・ - 3 ~ <u>0</u> ~ + 3 dB		
		サブウーハ -			
		サラウンド (L)			
		サラウンド (R)			
<u>2 チャンネル</u>					
9 エキスパート設定	スチルモード	・ <u>オート</u> ・ フィールド ・ フレーム			29
	早送り時の音声	・ <u>あり</u> ・ なし			
	TVモード(4 : 3)	・ <u>パン&スキャン</u> ・ レターボックス			
	音声のダイナミック レンジ圧縮	・ <u>切</u> ・ 入			
	I / P / B インジケータ	・ <u>しない</u> ・ する			
	DVDビデオモード	・ <u>しない</u> ・ する			

主な仕様

電源	DC 9 V (AC アダプター端子) / DC 7.2 V (専用バッテリー端子)
消費電力	13 W (本体 10 W) 電源「切」時 1.3 W / 充電時 22 W (付属の専用 AC アダプター使用時)
AC アダプター	電源 : 100 ~ 240 V、50 / 60 Hz 消費電力 : 41 ~ 52 VA DC 出力 : 9 V、2 A

外形寸法	幅 185 × 奥行 140 × 高さ 25.1 mm (液晶収納時、突起物を含まず)
質量	約 613 g
許容周囲温度	+ 5 ~ 35
許容相対湿度	5 ~ 90 % RH
信号方式	NTSC
対応ディスク	(1) DVD-Audio / DVD-Video ディスク 12 cm 片面 1 層 12 cm 片面 2 層 12 cm 両面 (各面 1 層) 8 cm 片面 1 層 8 cm 片面 2 層 8 cm 両面 (各面 1 層) (2) コンパクトディスク (CD-DA、Video CD) 12 cm ディスク 8 cm ディスク
液晶画面	7 型 α - Si TFT ワイド液晶モニター
S 映像出力	Y 出力レベル : 1 Vp-p (75 Ω)
	C 出力レベル : 0.286 Vp-p (75 Ω)
	出力端子 : S 端子 (1 系統)
映像出力 / 入力	出力 / 入力レベル : 1 Vp-p (75 Ω)
	出力 / 入力端子 : ミニジャック (1 系統 入出力切換式)

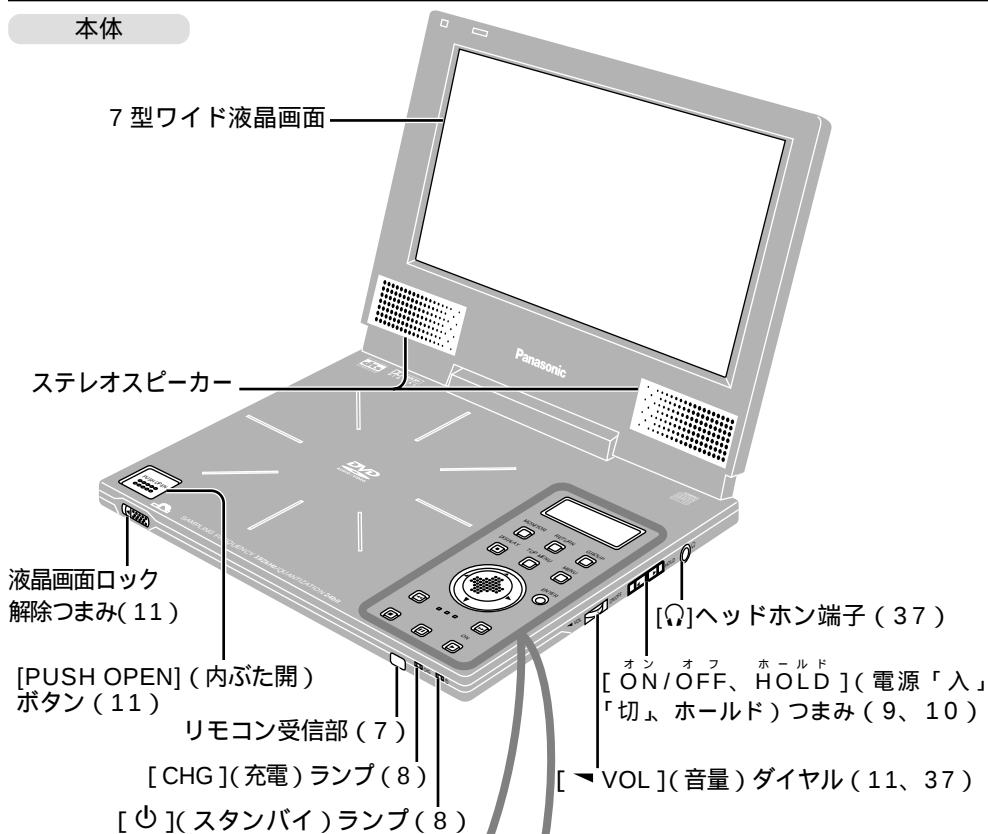
音声出力 / 入力	出力 / 入力レベル : 1.5 Vrms (1 kHz、0 dB)
	出力 / 入力端子 : • 2ch (5.1ch ミックス) 出力及び 5.1ch 出力フロント L / R (兼用) : ステレオミニジャック (1 系統 入出力切換式) 出力端子 : • 5.1ch 出力サラウンド L / R : ステレオミニジャック (1 系統) • 5.1ch 出力センター / サブウーハー : ステレオミニジャック (1 系統)
音声出力特性	周波数特性 : • DVD (リニア音声) : 2 Hz ~ 22 kHz (48 kHz サンプリング) 2 Hz ~ 44 kHz (96 kHz サンプリング) 2 Hz ~ 88 kHz (192 kHz サンプリング) • CD : 2 Hz ~ 20 kHz
	S / N 比 : CD 115 dB
	ダイナミックレンジ : CD 97 dB
デジタル音声出力	出力端子 : • 光デジタル出力 : ミニ光コネクター (音声出力 / 入力と兼用)
電源出力端子	専用 テレビ チューナー ユニット用 (DC 5 V)

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

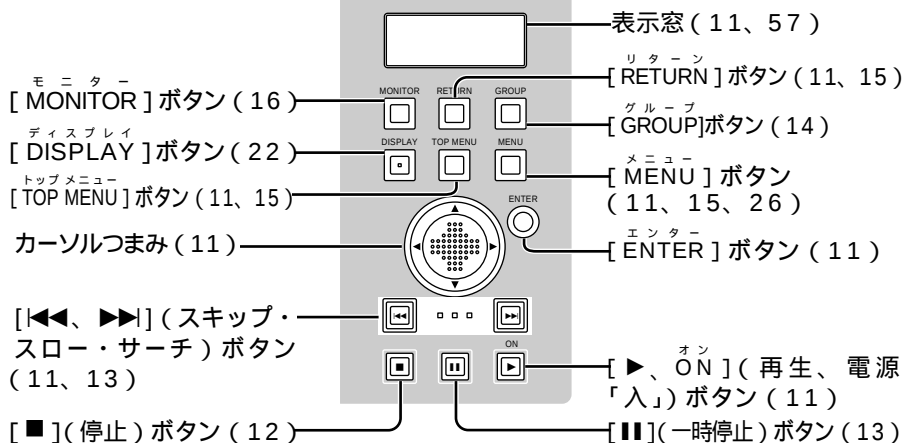
各部の名前

() 内は参照ページを表しています。

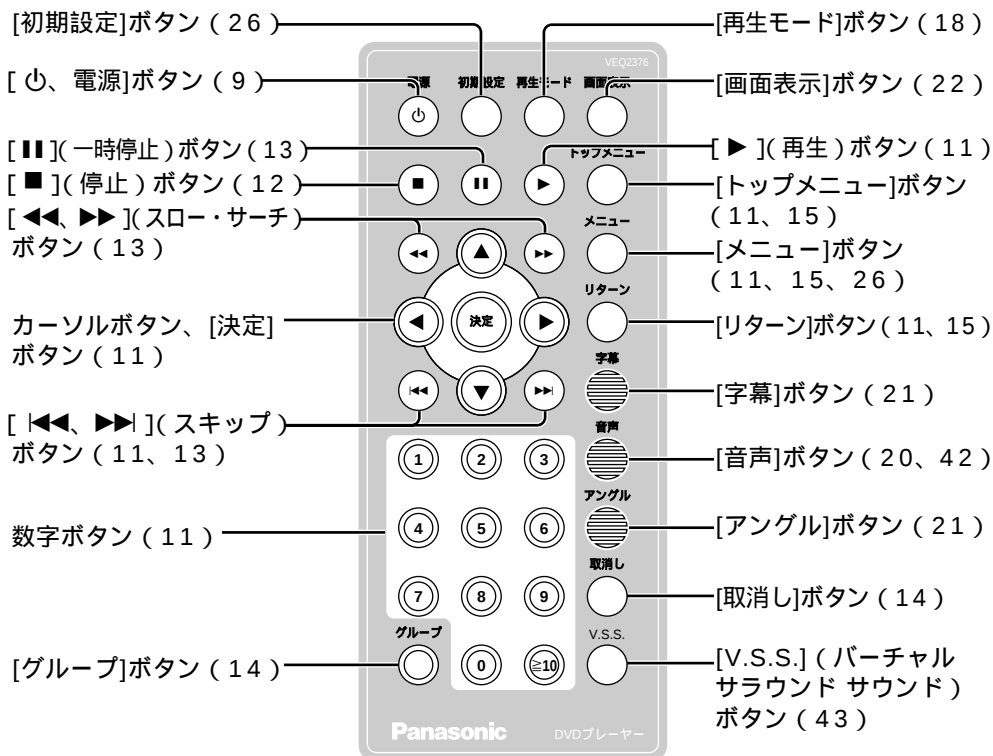
本体



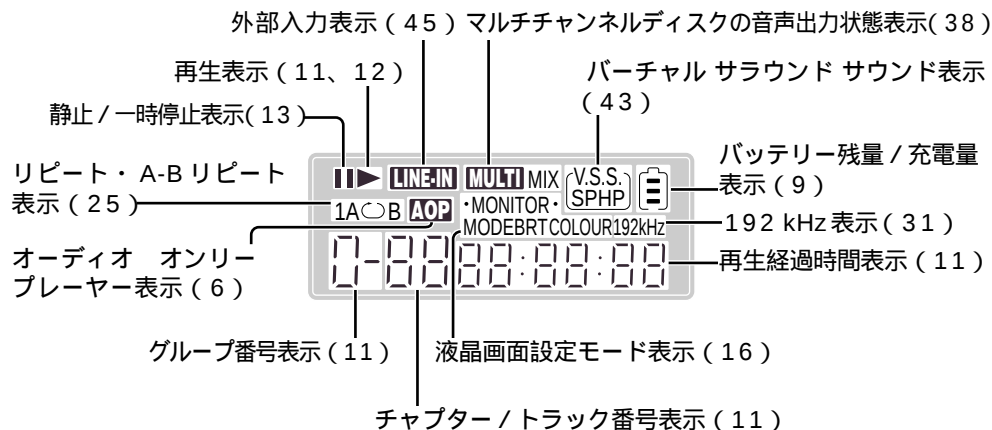
操作部



リモコン



表示窓



保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は...
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

- 転居や贈答品などでお困りの場合は...
- ・修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ!
- ・その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ!
- 保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間: お買い上げ日から本体 1 年間

- 修理を依頼されるとき
- 50 ~ 53 ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず AC アダプターの電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- ・保証期間中は
- 保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

- ・保証期間を過ぎているときは
- 修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、ポータブル DVD オーディオ/ビデオプレーヤーの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。
注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

- ・修理料金の仕組み
- 修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ナショナル/パナソニック お客様ご相談センター

使いかた・お買い物のご相談は

フリーダイヤル(料金無料)

0120-878-365



365日 / 受付9時 ~ 20時

Help desk for foreign residents in Japan

Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

Tokyo (03) 3256 - 5444

Osaka (06) 6645 - 8787

ナショナル/パナソニック 修理ご相談窓口

修理のご相談は

ナビダイヤル(全国共通番号)

0570-087-087



- お客様がおかけになった場所から最寄りの地区の修理ご相談窓口につながります。呼出音の前に NTT より通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHSからは最寄りの地区の修理ご相談窓口へ直接おかけください。(ナビダイヤルはご利用頂けません)

北海道地区

札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎ (011)894-1251	帯広	帯広市西19条南1丁目7-11 ☎ (0155)33-8477
旭川	旭川市2条通21丁目左1号 ☎ (0166)31-6151	函館	函館市西桔梗589番地24(函館流通卸センター内) ☎ (0138)48-6631

東北地区

青森	青森市大字ハッ役字矢作1-37 ☎ (017)739-9712	宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18 ☎ (022)387-1117
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2 ☎ (018)826-1600	山形	山形市流通センター3丁目12-2 ☎ (023)641-8100
岩手	盛岡市羽場13地割30-3 ☎ (019)639-5120	福島	福島県安達郡本宮町字南/内65 ☎ (0243)34-1301

ナショナル/パナソニック 修理 ご 相 談 窓 口

首 都 圏 地 区

栃木 宇都宮市御幸町 194-20 ☎(028)689-2555	千葉 千葉市中央区 星久喜町172 ☎(043)208-6034
群馬 高崎市萩原町沖中 205-18 ☎(027)352-1109	東京 東京都世田谷区宮坂 2丁目26-17 ☎(03)5450-7431
水戸 水戸市柳河町309-2 ☎(029)225-0249	山梨 甲府市下飯田2丁目 1-27 ☎(0552)22-5171
つくば つくば市花畑2丁目 8-1 ☎(0298)64-8756	神奈川 横浜市港南区日野 5丁目3-16 ☎(045)840-3155
埼玉 桶川市赤堀2丁目 4-2 ☎(048)729-2102	新潟 新潟市東明1丁目 8-14 ☎(025)286-7725

中 部 地 区

石川 石川県石川郡野々市町 稲荷3丁目80 ☎(076)294-2683	名古屋 名古屋市瑞穂区 塩入町8-10 ☎(052)819-0225
富山 富山市寺島1298 ☎(076)432-8705	岡崎 岡崎市岡町南久保28 ☎(0564)55-5719
福井 福井市開発4丁目 112 ☎(0776)54-5606	岐阜 岐阜県本巣郡北方町 高屋太2丁目30 ☎(058)323-6010
長野 松本市大字笹賀 7600-7 ☎(0263)58-0073	高山 高山市花岡町3丁目 82 ☎(0577)33-0613
静岡 静岡市西島765 ☎(054)287-9000	三重 久居市森町字北谷 1920-3 ☎(059)255-1380

近 畿 地 区

滋賀 守山市勝部6丁目 2-1 ☎(077)582-5021	奈良 大和郡山市椎木町 404-2 ☎(0743)59-2770
京都 京都市南区上鳥羽 石橋町20-1 ☎(075)672-9636	和歌山 和歌山市中島499-1 ☎(073)475-1311
大阪 大阪市北区本庄西 1丁目1-7 ☎(06)6359-6225	兵庫 神戸市中央区 琴ノ緒町3丁目2-6 ☎(078)272-6645

中 国 地 区

鳥取 鳥取市安長295-1 ☎(0857)26-9695	浜田 浜田市下府町327-93 ☎(0855)22-6629
米子 米子市米原4丁目 2-33 ☎(0859)34-2129	岡山 岡山県都窪郡早島町 矢尾807 ☎(086)292-1162
松江 松江市西津田2丁目 10-19 ☎(0852)23-1128	広島 広島市西区南観音 8丁目13-20 ☎(082)295-5011
出雲 出雲市渡橋町416 ☎(0853)21-3133	山口 山口市鑄銭司 字 鑄銭司団地北447-23 ☎(0839)86-4050

四 国 地 区

香川 高松市勅使町152-2 ☎(087)868-9477	高知 南国市岡豊町中島 331-1 ☎(088)866-3142
徳島 徳島県板野郡北島町 鯛浜字かや108 ☎(088)698-1125	愛媛 松山市土居田町 750-2 ☎(089)971-2144

九 州 地 区

福岡 春日市春日公園 3丁目48 ☎(092)593-9036	宮崎 宮崎県宮崎郡清武町 下加納366-2 ☎(0985)85-6530
佐賀 佐賀市本庄町大字 本庄896-2 ☎(0952)26-9151	熊本 熊本市健軍本町12-3 ☎(096)367-6067
長崎 長崎市東町1949-1 ☎(095)830-1658	天草 本渡市港町18-11 ☎(0969)22-3125
大分 大分市萩原4丁目 8-35 ☎(097)556-3815	鹿児島 鹿児島市与次郎 1丁目5-33 ☎(099)250-5657
	大島 名瀬市矢之脇町10-5 ☎(0997)53-5101

沖 縄 地 区

沖縄 浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207
------------------	----------------

所在地、電話番号が変更になることがありますので、
あらかじめご了承ください。 0600

本機は一般家庭用として作られています。

一般家庭用以外での使用（例えば飲食店などの営業用としての長時間使用など）により故障した場合は、保証期間内でも有料修理とさせていただきます。



この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

愛情点検 長年ご使用のポータブルDVDオーディオ/ビデオプレーヤーの点検を！			
	こんな症状はありませんか	・煙が出たり、異常なおい - や音をする ・映像や音声が出ないことが - ある ・正常に動作しないことがある ・商品に破損した部分がある ・その他の異常や故障がある	このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お 買 い 上 げ 日	年	月	日	品 番	DVD-LA85
販 売 店 名	☎ ()				—
お 客 様 ご 相 談 窓 口	☎ ()				—

松下電器産業株式会社 デジタルAVネットワーク事業部

〒571-8505 大阪府門真市松生町1番4号

© Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. (松下電器産業株式会社) 2000